

教育委員会の事務の管理及び執行状況の

# 点検及び評価の報告書

平成30年度対象

---

YACHIMATA



八街市教育委員会

令和元年9月



## 目 次

八街市民憲章、青少年健全育成都市宣言	1
やちまた教育の日、市の花「ヒマワリ」制定	2
総括 1. 点検評価の目的及び対象	3
2. 点検評価の期日	3
3. 点検評価の方法	3
4. 平成30年度事業の概要	4
5. まとめ	4
事務事業評価一覧表	7
教育委員会の事務事業評価シート	
1. 教育委員報酬	11
2. 教育委員会諸費	13
3. 教育委員会事務局諸費	15
4. 小学校施設整備事業費	17
5. 小学校空調設備整備事業費	19
6. 小学校管理諸費	21
7. 小学校施設維持管理費	23
8. 中学校施設整備事業費	25
9. 中学校管理諸費	27
10. 中学校施設維持管理費	29
11. 中学校施設改修事業費	31
12. 幼稚園施設整備事業費	33
13. 幼稚園諸費	35
14. 幼稚園施設維持管理費	37
15. 教育指導諸費	39
16. 外国語指導助手事業費	41
17. 教育支援センター管理運営費	43
18. 教育センター運営費	45
19. 育て八街っ子推進事業費	47
20. 教育支援体制整備事業費	49
21. 小学校教育振興費	51
22. 小学校教材備品等購入費	53
23. 小学校理科教育振興用備品購入費	55
24. 小学校児童援助奨励費	57

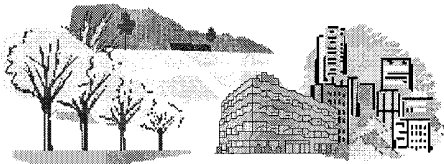
25. 中学校教育振興費	59
26. 中学校教材備品等購入費	61
27. 中学校理科教育振興用備品購入費	63
28. 中学校生徒援助奨励費	65
29. 学校保健管理費	67
30. 学校保健諸費	69
31. 社会教育振興費	71
32. 青少年健全育成費	73
33. 文化財保護費	75
34. 中央公民館管理運営費	77
35. 中央公民館整備事業費	79
36. 図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)	81
37. 図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)	83
38. 視聴覚教材費	85
39. 郷土資料館管理運営費	87
40. 市史編さん費	89
41. 八街市ピーナツ駅伝大会運営費	91
42. 学校開放推進費	93
43. 保健体育総務費	95
44. 体育振興費	97
45. 郡市民体育大会運営費	99
46. 体育施設維持管理費	101
47. スポーツプラザ管理運営費	103
48. スポーツプラザ整備事業費(繰越分含む)	105
49. 学校給食センター一般管理費	107
50. 学校給食センター調理場維持管理費	109
51. 学校給食センター調理場給食事業費	111

## 八街市民憲章

わたくしたちの八街は、開拓の歴史と恵まれた自然環境の中で、先人の努力によって栄えてきたまちです。

わたくしたちは、「ヒューマンフィールドやちまた」を目指して、調和のとれたよりよいまちづくりのために、この憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、文化のかおり高いまちにしましょう。
1. 自然を大切にし、潤いのある美しいまちにしましょう。
1. きまりを守り、明るい住みよいまちにしましょう。
1. おもいやりのある、心のかよった豊かなまちにしましょう。
1. スポーツに親しみ、健康で働くたくましいまちにしましょう。



〈平成4年9月28日制定〉  
八 街 市

## 青少年健全育成都市宣言

ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまたを大きく発展させ、次代の八街を創る者は、青少年です。

青少年が、夢、希望を持ち、自由と責任を自覚しながら、たくましく生きていく力を蓄え、広く社会に役立つ人材に成長することは、市民すべての願いです。この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となり、優しさと潤いのある環境の中で青少年を心身共に健やかに育てることを決意し、ここに八街市を『青少年健全育成都市』とすることを宣言する。



〈平成20年3月19日制定〉  
八 街 市

## 11月12日は「やちまた教育の日」

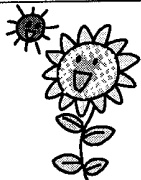
八街市教育委員会では、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、明日の八街市を担う、夢をいただき心豊かでたくましく生きる子ども達を育てるため、様々な施策を展開しているところであります。

次代を担う人々が、八街で生まれ育ったことを誇りとし、健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域の相互の連携を推進するとともに、市民一人ひとりが教育に対する理解と関心を深め、それぞれの場で役割を担い、やちまたのひとづくりに積極的に参加していただくことが不可欠であります。

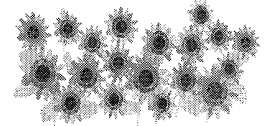
八街市教育委員会では、〈学校改善〉〈継続指導〉〈学校・家庭・地域との連携〉の3つの柱を視点とした『幼小中高連携教育』を全国に先がけ平成9年から取り組み、その成果を平成16年に全国公開で発表した、11月12日を「やちまた教育の日」と定め、併せて11月を「やちまた教育の日月間」として決めました。

〈平成22年4月1日制定〉

八街市教育委員会



## 市の花『ヒマワリ』



市制施行20周年の節目において、市の花を「ヒマワリ」に指定しました。

天に向かって一直線に伸び、鮮やかな大輪の花を咲かせるイメージから『【ひ】かり輝き、【ま】わりを照らす、【わ】たしもあなたも、【り】っぱに育てよ』と、次代を担う子どもたちへの思いを込め、「ヒマワリ」が市の花に決定しました。

〈平成25年2月1日制定〉

八 街 市

# 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項 に基づく教育委員会の点検及び評価について（総括）

## 1. 点検評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、本年度も平成30年度執行の教育委員会の権限に属する全ての事務事業について、決算状況を踏まえた上で点検評価を行いました。

その他、教育委員会の所管する全ての幼稚園、小中学校及び教育施設の教育委員会訪問を行いました。その際、授業や施設の状況などを参観するとともに、学校長等から学校運営、学校の課題、学校の現状などの説明を受け、質疑応答を行うことなど、学校及び教育施設の状況を把握することに努めました。

## 2. 点検評価の期日

①担当課による一次評価	令和元年6月25日
②教育委員会による二次評価	令和元年8月9日
③教育に関して知見を有する者を活用した外部評価	令和元年9月18日

## 3. 点検評価の方法

平成30年度の点検及び評価の実施にあたっては、「八街市教育委員会事務事業評価実施要領」により作成された、教育委員会事務事業評価シートにより評価を実施しました。

事務局等の評価は、一次評価として位置づけ、関係職員から事情を聴取することによって評価を実施しました。

二次評価については、昨年度同様、教育長及び教育委員4名による評価とし、シートの評価欄については、5名の評価を取りまとめた判定結果を4段階（A, B, C, D）で記載しました。

さらに、この評価結果について、教育に関し学識経験を有する方2名の知見を受け、事務事業の外部評価としました。

二次評価及び外部評価の結果一覧については、7ページから9ページに「事務事業評価一覧表」として記載しました。

## 4. 平成30年度事業の概要

八街市教育委員会では、平成30年度においても、八街市総合計画2015における、八街市がめざす将来都市像である、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の実現に向け、重点施策として、「八街市教育施策」においても取り組んでいるⅠ『子どもの教育・健全育成の充実』、Ⅱ『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』、Ⅲ『市民文化の創造と継承』、Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』に努め、様々な事業を展開しています。

施策がめざす基本的方向としましては、次の方針に基づいた事業に取り組んでいます。

### Ⅰ 子どもの教育・健全育成の充実

子どもたちが健全に成長し、人間性豊かな心を育むために、八街の特色を活かした教育活動や学習環境を図ります。また、学校・家庭・地域が連携した地域ぐるみの青少年健全育成に努めます。

### Ⅱ 自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進

生涯学習社会の形成を目指し、さまざまな学習活動の支援と学習成果を活かすことのできる機会づくりに努めます。また、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の拡充を図ります。

### Ⅲ 市民文化の創造と継承

市民の芸術文化活動を支援し、発表や交流の場を拡充するとともに、八街の歴史文化遺産の保護・継承と活用に努めます。

### Ⅳ 豊かな心を育む交流の推進

国際交流、地域間交流、世代間交流を推進し、広い視野を持つ人材の育成や人々が交流する場の提供に努めます。

## 5. まとめ

今回教育委員会が行った事務事業の評価結果は、事務事業評価一覧表のとおりです。

教育委員会の平成30年度に執行した事務事業については、総じて厳しい財政状況の中で、工夫・努力し推進しており、全体を通して事務事業において概ね適正であったと評価をいただきました。

また、昨年度の猛暑を受けて、令和元年度中に小中学校に空調設備を設置することについては、高い評価をいただきました。

外部評価としては、平成22年度（平成21年度実施分）から2名の方をお願いしており、それぞれの評価を記載しました。



## 二次評価（教育委員）の意見等

- ・学校教育課内の学校教育相談員等非常勤職員の給与（時給）が職務の重要性、難しさと比較すると見合っていないと考える。  
学力向上、長欠対策という重要な職務を担っているにもかかわらず、現在の時給は不釣り合いであり、他市町と本市の給与面での格差が大きく、優秀な人材の確保が難しくなっているのが現状である。  
近い将来、八街市を支える人材づくりのため、学力向上と長欠対策という二大課題の対応のため、上記の見直しは急務であると考えます。
- ・市内小学校の空調設備の設置は、児童の学習環境の確保のためにも必要な事業であり、高く評価したいと思います。
- ・若年層教員の比率が高くなっている近年、教職員の指導力と資質の向上のためにも、教育センターの充実が急務と考えます。予算も増額されてきているので、更なる充実に期待します。
- ・限られた予算の中で、計画どおりほぼ達成できていることは、素晴らしいと思います。潤沢の中ではなく、工夫と知恵を出して行政を執行することが更に求められてくると思料されます。
- ・学校等教育機関訪問は、訪問者個々の訪問先の実態把握や評価表の提出に止まらず、更に課題の共有化を図ったり、教育委員会として何ができるかを検討したりする場を設けていきたいものです。
- ・不登校やいじめ等、問題を抱える児童生徒や保護者にとって大事な存在となるはずのカウンセラーによるカウンセリング件数が年々減少し、また、平成30年度には、小学校巡回相談回数も減少しましたが、その原因・理由の見極めとカウンセラーを有効活用する手立てが必要です。
- ・各社会教育・社会体育施設では、当市の人口が年々減少傾向を示す中、様々な手立てを講じて利用者数の維持に努めていることが伺えます。また、施設の経年劣化には、計画的な改修工事で、安全・安心に利用できるよう良く努めていることも伺えます。
- ・教育センターについて、長欠不登校児童生徒の支援についてはとても必要性を感じます。楽しい学校生活が再び送れるよう、生徒への積極的な支援をお願いします。

## 外部評価の意見等

- ・小中学校の空調設備整備事業をはじめとして学校施設の整備・改善が求められているなか、財源確保等に苦慮されていることと思いますが、円滑かつ効果的な整備手法を検討しながら計画的に事業の推進に努めていることが伺えます。
- ・カウンセラーによるカウンセリング件数が減少している現状については、課題として認識し、教育相談体制の改善に努めていると伺っています。  
カウンセリングに関しては、ケースも様々であり効果が出るまで時間がか

かるなどご苦勞も多いと思いますが、さらに効果的に取り組めるよう引き続き体制の整備・強化に努めていただきたいと思います。

- ・市民文化祭への出演・出品者数の減、中央公民館における主催事業への参加人数、来館者数の減など社会教育施設の利用実績が減少傾向にあります。市民文化祭では文化・芸術に関するイベントを同時に開催するなど、市民の関心を高める努力がされていることが伺われます。

参加者数などの指標にのみ固執する必要はないと思いますが、生活スタイルが多様化する中では、既存の枠組みに捉われることなく市民のニーズを的確に把握するとともに職員の創意工夫により、さらに「魅力ある」社会教育事業が展開されることで、より多くの方に利用される施設とすることが望ましいと考えます。

図書館では、ライブラリーカフェなどユニークな企画が行われており興味深く感じています。

- ・新時代を迎え、子どもたちの減少等、学校環境が少しずつ変化する中、行政・学校・家庭・地域が、児童・生徒一人ひとりを大切にする取組がなされ、効果も表れています。

小学校における英語教育への環境づくり、中学校では、進路相談等を含む教育支援体制の充実など、各校が子どもたちへのきめ細やかな対応を心がけている様子が伺えます。

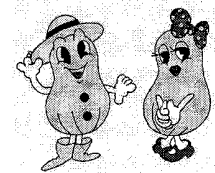
また、保護者への支援として、経済的な理由による教育の格差をなくすための費用面での援助が年々充実しており、子どもたちも助かっています。制度が継続する中での透明性、厳格化を維持できるよう期待します。

- ・社会教育においては、多様化の時代、市民のための企画・運営と実践、攻めの姿が見受けられます。中央公民館を中心に、協働の体制づくりが進んでいます。

- ・青少年健全育成においては、複雑な社会、人間関係の構築等、その維持には、各家庭やPTAの存在、各団体等の貢献的な取組が大きく関わっていると思われま

※この評価結果につきましては、ホームページで公表しております。

八街市のイメージキャラクター



ピーちゃん ナツちゃん

# 事務事業評価一覧表 (平成30年度事業の評価)

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
1	9	1	1	教育総務課	教育委員報酬	A	A	A	A	A	A	A
2	9	1	1	教育総務課	教育委員会諸費	A	A	A	A	A	A	A
3	9	1	2	教育総務課	教育委員会事務局諸費	A	A	A	A	A	A	A
4	9	2	1	教育総務課	小学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
5	9	2	1	教育総務課	小学校空調設備整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
6	9	2	1	教育総務課	小学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
7	9	2	1	教育総務課	小学校施設維持管理費	A	B	B	A	A	A	A
8	9	3	1	教育総務課	中学校施設整備事業費	A	B	B	A	A	A	A
9	9	3	1	教育総務課	中学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
10	9	3	1	教育総務課	中学校施設維持管理費	A	B	B	A	A	A	A
11	9	3	3	教育総務課	中学校施設改修事業費	A	A	A	A	A	A	A
12	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
13	9	4	1	教育総務課	幼稚園諸費	A	A	A	A	A	A	A
14	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設維持管理費	A	B	B	A	A	A	A
15	9	1	3	学校教育課	教育指導諸費	A	B	B	A	B	B	B
16	9	1	3	学校教育課	外国語指導助手事業費	A	A	A	A	A	A	A
17	9	1	3	学校教育課	教育支援センター管理運営費	A	A	A	A	A	B	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
18	9	1	3	学校教育課	教育センター運営費	A	A	B	A	A	A	A
19	9	1	3	学校教育課	育て八街っ子推進事業費	B	B	B	A	B	B	B
20	9	1	3	学校教育課	教育支援体制整備事業費	A	B	B	B	B	B	B
21	9	2	2	学校教育課	小学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
22	9	2	2	学校教育課	小学校教材備品等購入費	A	A	B	A	A	A	A
23	9	2	2	学校教育課	小学校理科教育振興用備品購入費	A	A	B	A	A	A	A
24	9	2	2	学校教育課	小学校児童援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
25	9	3	2	学校教育課	中学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
26	9	3	2	学校教育課	中学校教材備品等購入費	A	A	B	A	A	A	A
27	9	3	2	学校教育課	中学校理科教育振興用備品購入費	A	A	B	A	A	A	A
28	9	3	2	学校教育課	中学校生徒援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
29	9	6	2	学校教育課	学校保健管理費	A	A	A	A	A	A	A
30	9	6	2	学校教育課	学校保健諸費	A	A	A	B	A	A	A
31	9	5	1	社会教育課	社会教育振興費	A	B	B	A	B	B	B
32	9	5	1	社会教育課	青少年健全育成費	B	B	B	A	B	B	B
33	9	5	1	社会教育課	文化財保護費	A	B	A	A	A	A	A
34	9	5	2	中央公民館	中央公民館管理運営費	A	A	A	A	A	B	A
35	9	5	2	中央公民館	中央公民館整備事業費	A	A	A	A	A	A	A

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
36	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (臨時職員の雇用、施設等の維持管理)	A	A	A	A	A	A	A
37	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (資料収集、読書の普及、利用促進)	A	A	A	A	A	A	A
38	9	5	3	図書館	視聴覚教材費	B	B	B	A	B	B	B
39	9	5	4	郷土資料館	郷土資料館管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
40	9	5	5	郷土資料館	市史編さん費	A	A	A	A	A	A	A
41	9	6	1	スポーツ振興課	八街市ピーナッツ駅伝大会運営費	A	A	A	A	A	A	A
42	9	6	1	スポーツ振興課	学校開放推進費	A	A	A	A	A	A	A
43	9	6	1	スポーツ振興課	保健体育総務費	A	A	A	A	A	A	A
44	9	6	1	スポーツ振興課	体育振興費	A	A	A	A	A	A	A
45	9	6	1	スポーツ振興課	郡市民体育大会運営費	A	A	A	A	A	A	A
46	9	6	3	スポーツ振興課	体育施設維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
47	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ管理運営費	A	B	A	A	A	A	A
48	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ整備事業費(繰越分含む)	A	B	A	A	A	A	A
49	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター一般管理費	A	A	A	A	A	A	A
50	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
51	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場維持管理費	A	A	A	A	A	A	A

## 教育委員評価の判定について

### 教育委員評価判定内規

各項目の判定にあたって、各委員の評価の取りまとめ方について

	i 委員	ii 委員	iii 委員	iv 委員	v 委員		
例①	A	A	A	A	A	評価	A
例②	A	A	A	A	B	評価	A
例③	A	A	A	B	B	評価	B
例④	A	A	A	B	C	評価	B
例⑤	A	A	A	A	C	評価	A
例⑥	A	A	A	C	C	評価	B
例⑦	A	A	B	B	C	評価	B
例⑧	A	A	B	C	C	評価	B
例⑨	A	B	B	C	C	評価	C
例⑩	B	B	B	C	C	評価	C

下位が2以上あれば下位評価とする

下位評価が1の場合は上位評価とする

下位が2以上あれば下位評価とする

この他の評価パターンが生じた場合は上記の基準に照らし判断するものとします。

## 教育委員会の評価基準

### Check 事務事業の評価

- 必要性** 市民からのニーズ、手段、及び市が関与することの妥当性について検証します。
- \* 市民ニーズ
    - a…増大若しくは極めて高い
    - b…高い
    - c…やや低い
    - d…低い
  - \* 妥当性
    - a…法定受託事務や市が直接関与するよう法律や法令で定められた事業など
    - b…公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業
    - c…役割分担可能であるが市関与が望ましい事業
    - d…市で関与することは妥当性が少ない(民営化または縮小・廃止を検討すべき)
- 有効性** 期待された成果に対する実施成果を検証します。
- a…期待された成果以上の高い成果が得られた
  - b…概ね期待通りの成果が得られた
  - c…成果はやや低い
  - d…成果は低い
- 効率性** 事業効率の向上、コスト低減の可能性などについて検証します。
- a…向上の余地なし(低減の余地は全くない)
  - b…向上の余地はあまりない(低減の余地はあまりない)
  - c…向上の余地あり(低減の余地あり)
  - d…向上の余地は大きい(低減の余地は大きい)
- 公平性** 事業効果の配分や受益者負担の公平性について検証します。
- a…検討の余地なし
  - b…検討の余地はあまりない
  - c…検討の余地あり
  - d…検討の余地は大きい
- 総括評価** 事務事業の総括及び実施上の課題について検証します。
- 期待された成果に対する実施成果を検証します。
- a…適切に実施されており検討の余地はない
  - b…概ね適切に実施されており検討の余地はあまりない
  - c…検討の余地あり
  - d…検討の余地は大きい

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		教育委員報酬						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・庶務班	
								電話番号		443-1442 内線 2353	
								E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例		
直接の対象者(～に対して)	教育委員						最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	教育行政を運営するにあたり、地方公共団体に教育委員を置き、地域の実情に応じた教育の振興を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議として、定例会及び臨時会を開催する。</li> <li>・教育委員による学校等教育機関訪問を実施する。</li> <li>・総合教育会議の構成員として、市長が招集する会議に出席する。</li> </ul>										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	教育委員会定例会等開催数	回	15	14	13	12			
		2	総合教育会議出席数	回	1	1	1	2			
	事業の効果	1	定例会等議案審議件数	件	50	51	50	50			
		2	総合教育会議協議案件数	件	1	1	3	3			
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の会務に対する管理・監督に寄与している。</li> <li>・教育委員会会議を定期的に開催し、市の教育行政に係る基本方針や重要施策を審議・決定し、適正な運営に努めた。</li> </ul>								
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	2,304	2,278	2,208	2,208				
	決算額			千円	2,304	2,278	2,208				
		特定・その他財源( )	千円								
			一般財源	千円	2,304	2,278	2,208				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報酬 2,208								

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
	a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり不可欠である。		
有効性	a	月1回の定例会の開催に合わせ、学校等教育機関の訪問を実施し、現状の把握に努めた。		
効率性	a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な事務事業の執行を行っている。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市教育行政全体へ反映されるため、公平性に問題はない。	
総括評価	a	市のホームページで議事録(公表できない部分を除く)を公開し、透明性に努めるとともに市民のニーズに応えていく。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	
	B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	
C 検討の余地あり				
D 検討の余地は大きい				
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	・教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握し、より実効的な活動をするため、平成17年度から実施している学校等教育機関訪問を引き続き実施する。 ・教育委員会会議、総合教育会議等の議事録、活動内容等をホームページで公開するなど、教育委員会の透明性を保持する。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	・教育委員会会議は、教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。 ・さらに現状を把握し、「総合教育会議」の活用を充実し、教育委員会の一層の活性化を図る。			

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		教育委員会諸費						部 局	教育委員会	
								課等・班	教育総務課・庶務班	
								電話番号	443-1442	内線 2353
								E-mail	kyousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育委員会表彰規程	
直接の対象者(～に対して)	市民・教育委員						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	・教育、学術、文化又はスポーツの振興に関し、優秀な人材育成に資する。 ・教育委員会の活性化を図るため、教育委員の資質・能力の向上を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	・教育委員会定例表彰式を実施する。 ・教育委員が、研修等に参加する。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	1	定例表彰式の実施	回	1	1	1	1		
		2	教育委員の研修等への参加	回	3	4	3	3		
	事業の効果	1	教育委員会表彰被表彰者	人(団体)	34	25	35	30		
		事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・教育、学術、文化又はスポーツに関し、功績が顕著であった個人又は団体を顕彰し、優秀な人材の育成に寄与している。 ・教育委員においては、泉並びに印旛郡市の協議会が主催する研修等に積極的に参加し、能力の向上が図られている。								
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	222	220	210	205			
	決算額			千円	199	168	185			
		特定・その他財源( )	千円							
			一般財源	千円	199	168	185			
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	66						
			負担金	118						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	定例表彰式の実施は、教育、学術、文化、スポーツに対する意欲の向上に大きく貢献しており、ニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	教育、学術、文化、スポーツの振興を目的としており、公共性・公平性が求められることから、市が主体となる必要があり、関与は妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	本市の教育、学術、文化、スポーツの振興に貢献している。 また、教育委員の研修等を実施することにより、資質・能力の向上が図られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	教育委員会の定例表彰式と八街市定例表彰式を合同で行うことで、効率性を高めている。 また、教育委員の研修等は、県や印旛郡市の協議会が主催することから、周辺市町との交流も深めることができる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	必要な経費を公費負担することは問題ない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市教育行政の方向性を共有するための基礎となることであり、今後も継続していきたい。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
					評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	元年度における取組のPRと方向性	・多面的な情報収集に気を配ってきたい。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・スポーツ大会等が多様化しており、定例表彰候補者の選定に苦慮しているが、公平な審査基準を保持できるよう努めたい。				

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育委員会事務局諸費							所管課等	部 局	教育委員会
									課等・班	教育総務課・庶務班
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1442	内線	2353
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策	学校教育の充実								
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業				
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則			
	直接の対象者 (～に対して)	教育委員会事務局				最終的な受益者	市民			
②	事業目的 (～という状態にするために)	・教育委員会が実施する施策等を円滑かつ効率的に行うために、その庶務的な事務を行う。								
	具体的な事業内容 (～を行う)	・教育委員会が雇用する臨時職員の共済費(社会保険・雇用保険・労災保険)に関する事務を行う。 ・教育委員会事務局の代表である教育長に係る経費(旅費・交際費・負担金等)の支出する。 ・教育委員会事務事業の点検及び評価を実施する。								
	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	1	教育委員会臨時職員	人	111	104	107	109		
		2	臨時職員の保険料	千円	1,115	1,011	1,037	1,276		
		3	教育長交際費	件	26	12	13	12		
	事業の効果									
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・教育委員会に係る教育機関や学校・幼稚園においては、より良い人材の確保が重要であるなか、臨時職員等の活躍は欠かすことができず、教育委員会が実施する施策等の遂行に大いに貢献できた。 ・教育委員会の主管課として、事務事業のとりまとめ役を果たしている。								
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	3,351	3,090	2,956	36,554			
	決算額			千円	2,855	2,568	2,688			
		特定・その他財源( )		千円	301	216	243			
		一般財源		千円	2,554	2,352	2,445			
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		共済費	1,037	需用費	280					
		賃金	903	負担金及び補助金	190					
		交際費	72							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心・注目が高まっている中、各種要望等に対応しなければならない。		A
		市の関与は妥当ですか	a	教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務の円滑化を図ることが重要である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	事務の円滑化が図られることにより、教育施策の早期実現が可能となる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度ごとに事務事業の評価・点検を実施することにより、常に見直しを行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	施策が実現されることにより、効果が広く市民に還元される。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	多種・多様なニーズに対し、現状の限られた予算・人員でいかに迅速かつ的確に対応していくかが課題となってくる。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
					評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	元年度における取組のPRと方向性	・平成26年度に策定した教育振興基本計画の見直しを考えている。 ・教育施設長寿命化計画策定業務を行うこと、車両を購入することにより、一時的に予算規模が膨らみます。 委託料:32,076千円 備品購入費:軽バン1,300千円 軽トラック1,247千円 臨時的経費合計:34,623千円				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育委員会事務局内の事務を円滑に進められるよう努める。				

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		小学校施設整備事業費				部 局	教育委員会	
						課等・班	教育総務課・施設班	
						電話番号	443-1442	内線 2355
						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
	直接の対象者(～に対して)	小学校				最終的な受益者	小学生・教職員	
	事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。						
	具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。						
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	13	26	29	25
		2	委託件数	件	0	1	1	0
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	10,043	24,552	53,311	20,796
		2	委託の実施	千円	0	432	491	0
		事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。					
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・H30の主な工事として、二州小学校受水槽等更新工事、二州小学校さく井工事等を実施した。						
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	10,043	25,051	53,921	20,796	
	決算額		千円	10,043	24,984	53,803		
		特定・その他財源( )	千円			24,450		
		一般財源	千円	10,043	24,984	29,353		
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費	53,312				
			委託料	491				

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
有効性	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		
効率性	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	
総括評価	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	・施設維持管理工事(6,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 ・枠外要求の朝陽小学校パソコン教室改修工事、小学校消防設備改修工事等は、適時適切な工事を実施していく。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
	・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校空調設備整備事業費						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・施設班	
								電話番号		443-1442 内線 2355	
								E-mail		kyousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
	直接の対象者(～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員		
	事業目的(～という状態にするために)	・小学校に空調設備を設置し、児童の教育環境の向上を図る。									
	具体的な事業内容(～を行う)	・H30 市立小学校の空調設備設置工事設計業務の委託を行う。 ・R1 市立小学校の空調設備設置工事を行う ・R1 市立小学校の空調設備設置工事監理業務を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	・八街市教職員組合・八街市小中学校校長会から空調設備の設置要望がある。 ・議会の一般質問にて、教室への空調設備の設置要望がある。								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	0	0	2	2			
		2	業務委託契約数	件	0	1	6	2			
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	0	0	65,236	818,830			
		2	設計及び監理業務の実施	千円	0	1,868	24,700	32,480			
		3	工事に伴う消耗品	千円	0	0	74	932			
	事業効果に関する外部要因		・良好な教育環境の施設整備が求めており、各方面から強く要望されているため、事業計画、整備手法等の検討が必要である。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・H30川上小学校の空調設備設置工事を完了し、他8校の設計業務を行った。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	0	4,212	148,043	852,242				
	決算額			千円	0	1,868	90,010				
		特定・その他財源( )	千円	0	1,400	73,100					
			一般財源	千円	0	468	16,910				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	74								
		委託料	24,700								
		工事請負費	65,236								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	近年の夏は猛暑続きであり、児童の学習環境の改善からも冷暖房設備設置は必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の学習環境の改善を進めることが出来た。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算に基づく発注を実施しているため、改善の余地は余りない。なお、事業全体の整備方法、方針等は検討した。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎の改修、避難所の機能向上、児童の生活環境を確保するもので公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各種の要望も出ており、本事業の必要性、有効性は大変高いと考える。よって早々に全小学校の整備を進める必要がある。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
					評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	元年度における取組のPRと方向性	川上小学校を除く小学校8校の空調設備整備工事及び工事監理業務を実施する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了  近年の夏は猛暑続きであり、児童の学習環境の改善からも冷暖房設備設置は必要であるため、早々に整備を行う必要がある。なお、全小学校の整備手法の検討のうち、予算の平準化、補助金の活用、全学校整備の公平性等を重点的に考慮する必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校管理諸費						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・庶務班	
								電話番号		443-1442 内線 2353	
								E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 学校配当 )						実施根拠	八街市小学校設置条例		
直接の対象者 (〜に対して)	全市立小学校児童						最終的な受益者	市民			
事業目的 (〜という状態にするために)	・小学校運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	・小学校用務員の雇用管理に関する事務を行う。 ・小学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)9校分	千円	13,002	13,293	12,846	12,673			
		2	需用費(光熱水費)9校分	千円	37,104	36,312	38,844	42,037			
		3	役務費(通信運搬費)9校分	千円	3,418	3,538	3,376	3,811			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	79,735	80,750	72,751	79,302				
	決算額		千円	71,192	70,552	72,275					
		特定・その他財源( )	千円	1,212	1,085	1,085					
		一般財源	千円	69,980	69,467	71,190					
30年度の主な歳出内訳 (単位:千円)			共済費	2,190	役務費	4,560					
			賃金	8,479							
			需用費	56,667							

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	学校運営に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならない。		
有効性	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		
効率性	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	
総括評価	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	
	B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	
C 検討の余地あり				
D 検討の余地は大きい				
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合
	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
	・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	小学校施設維持管理費							所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	教育総務課・施設班	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1442	内線 2355
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備				
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (〜に対して)	小学校					最終的な受益者	小学生・教職員			
	事業目的 (〜という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。									
	具体的な事業内容 (〜を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	24	34	29	29			
		2	学校施設の修繕契約数	件	57	85	71	71			
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の契約数	件	11	4	4	4			
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	15	15	16	16			
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	15,362	21,406	21,164	33,102			
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	5,463	5,730	4,888	5,400			
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施	千円	1,907	569	490	558			
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	3,712	4,139	3,255	3,761			
		事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	30,549	33,072	30,162	42,821				
	決算額			千円	26,444	31,844	29,797				
		特定・その他財源( )	千円								
	一般財源		千円	26,444	31,844	29,797					
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	5,568	使用料及び賃借料	5,627					
			役務費	490	備品購入費	2,575					
			委託料	15,537							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が実施する事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費の削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
					評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	元年度における取組のPRと方向性	・技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを検討し、経費の節減を図る。 (例: 照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) ・消火器(全校)の賃借については、平成27年度から8年間のリース、またAED(全校)及び複写機(全校)の賃借について、実住小は平成26年から、その外の学校は平成28年から5年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 ・小学校の便所が老朽化しているため、小学校6校のトイレ洗浄殺菌装置等を賃貸借し、衛生面及び環境面の向上を図る。 ・平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成30年度も測定を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	中学校施設整備事業費						部 局	教育委員会			
							課等・班	教育総務課・施設班			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2355
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	具体的施策	学校教育の充実									
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備				
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
	直接の対象者 (~に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員		
	事業目的 (~という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。									
	具体的な事業内容 (~を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	9	18	14	10			
		2									
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	15,091	27,516	15,326	8,579			
		2									
	事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・H30の主な工事として、八街中央中学校防球ネット設置工事、八街南中学校プレハブ校舎床改修工事等を実施した。								
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
		(最終)予算額		千円	15,181	27,516	21,249	8,579			
		決算額			千円	15,091	27,516	15,326			
特定・その他財源( )			千円	6,600	14,200	4,264					
一般財源			千円	8,491	13,316	11,062					
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			工事請負費 15,326								

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
有効性	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		
効率性	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	
総括評価	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	・施設維持管理工事(4,500千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。 ・校外要求の中学校消防設備改修工事は、適時適切な工事を実施していく。			
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

## 教育委員会の事務事業評価シート

## 【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校管理諸費						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・庶務班	
								電話番号		443-1442 内線 2353	
								E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 学校配当 )						実施根拠	八街市中学校設置条例		
直接の対象者 (～に対して)	全市立中学校生徒						最終的な受益者	市民			
事業目的 (～という状態にするために)	・中学校運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。										
具体的な事業内容 (～を行う)	・中学校用務員の雇用管理に関する事務を行う。 ・中学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)4校分	千円	9,130	9,421	9,014	9,029			
		2	需用費(光熱水費)4校分	千円	24,529	24,861	27,003	25,479			
		3	役務費(通信運搬費)4校分	千円	1,944	1,848	1,742	2,018			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	53,713	53,170	51,860	51,268				
	決算額			千円	46,980	47,580	50,951				
		特定・その他財源( )		千円	582	592	781				
		一般財源		千円	46,398	46,988	50,170				
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			共済費	1,579	役務費	2,432					
			賃金	6,786							
			需用費	39,878							

Check 事務事業の評価							
区分		一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A		
	市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。				
有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A		
効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1			
				評価者 2			
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校施設維持管理費						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・施設班	
								電話番号		443-1442 内線 2355	
								E-mail		kvousou@city.vachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校施設の整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
直接の対象者 (～に対して)		中学校						最終的な受益者		中学生・教職員	
事業目的 (～という状態にするために)		・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。									
具体的な事業内容 (～を行う)		・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施。 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	17	18	22	22			
		2	学校施設の修繕契約数	件	51	53	52	52			
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の契約数	件	4	3	2	2			
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	10	9	11	11			
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	8,131	7,928	8,578	9,800			
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	4,415	5,253	4,481	4,500			
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施	千円	277	233	61	65			
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	2,247	3,210	1,743	3,893			
	事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	16,522	17,771	15,029	18,258				
	決算額			千円	15,070	16,624	14,863				
		特定・その他財源( )	千円								
			一般財源	千円	15,070	16,624	14,863				
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	4,996	使用料及び賃借料	1,454					
			役務費	61	原材料費	195					
			委託料	7,124	備品購入費	1,033					

Check 事務事業の評価							
区分		一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。		A		
	市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B		
効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		B		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1			
				評価者 2			
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。)</li> <li>消火器(全校)については、平成27年度から8年間、AED(全校)は平成30年度から5年間、複写機(中央中)については平成26年から、その外の学校は平成28年から5年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。</li> <li>平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成30年度も測定を行う。</li> </ul>						
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。</li> </ul>							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		中学校施設改修事業費				部 局	教育委員会	
						課等・班	教育総務課・施設班	
						電話番号	443-1442	内線 2355
						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
	直接の対象者 (～に対して)	中学校				最終的な受益者	中学生・教職員	
	事業目的 (～という状態にするために)	・老朽化した学校施設・設備について、耐震化を含め計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。						
	具体的な事業内容 (～を行う)	・避難所となる八街南中学校屋内運動場における天井等の非構造部材耐震化の調査設計業務委託を行う。(H28) ・調査に基づき、八街南中学校屋内運動場の非構造部材耐震改修工事を行う。 ・八街中学校の避難階段設置工事等と監理業務を行う。(H28,29) ・八街北中学校の空調設備改修工事を行う。(H29) ・八街中学校屋内運動場における天井等の非構造部材耐震化の調査設計業務委託を行う。(H30) ・調査に基づき、八街中学校屋内運動場の非構造部材耐震改修工事を行う。(R1)						
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	・生徒の学校生活環境の向上を図るために。					
			・議会の一般質問にて、教室への空調設備の設置要望がある。					
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	3	2	0	2
		2	業務委託契約数	件	2	0	1	1
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	115,584	9,044	0	275,692
		2	設計及び監理業務の実施	千円	994	0	1,755	16,604
		3	工事に伴う消耗品	千円	102	0	0	472
		事業効果に関する外部要因	・避難所である屋内運動場の天井等の非構造部材について、平成27年度までに耐震化を完了するよう文部科学省より強く要望されている。					
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・八街南中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(H28) ・八街中学校の避難階段設置工事等を実施した。(H28,29) ・八街北中学校空調設備改修工事を実施した(H29) ・八街中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修調査設計を実施した。(H30)					
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)
		(最終)予算額		千円	32,995	9,306	4,200	292,768
決算額			千円	32,616	9,044	1,755		
		特定・その他財源( )	千円	32,576	4,500	0		
		一般財源	千円	40	4,544	1,755		
	30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	0				
			委託料	1,755				
			工事請負費	0				

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
有効性	a	・耐震改修工事を実施することにより、生徒の安全が確保できる。 ・浄化槽改修工事を実施することにより、排水基準を確保できる。		
効率性	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はあまり無い。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎を改修するもので公平である。	A
総括評価	a	・施設の老朽化により、耐震性のない校舎等や非構造部材は早急に耐震改修し、生徒の安全を確保しなければならない。		A
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	・八街中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を行う。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	・屋内運動場の非構造部材の耐震改修は、生徒の安全確保と避難所という観点から早急を実施し、工事前年度に調査した学校については、翌年度中に完了させることが重要である。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名	幼稚園施設整備事業費						部 局	教育委員会
							課等・班	教育総務課・施設班
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1442 内線 2355
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	kyousou@city.yachimata.lg.jp
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実						
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	幼稚園教育の充実	
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )				実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
	直接の対象者 (～に対して)	幼稚園				最終的な受益者	幼稚園児・教職員	
②	事業目的 (～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。						
	具体的な事業内容 (～を行う)	・幼稚園施設の改修工事等を行う。						
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	1	4	2	1
		2						
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	373	1,230	2,835	445
		2						
	事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。					
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高い改修工事等の実施に努めた。					
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)
		(最終)予算額		千円	373	1,284	2,857	445
		決算額			千円	372	1,229	2,835
特定・その他財源( )			千円					
一般財源		千円	372	1,229	2,835			
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			工事請負費 2,835					

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
有効性	b	必要不可欠な改修工事などにおいて、優先度の高い改修工事を対応することができた。		
効率性	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総括評価	a	幼稚園施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	川上幼稚園の滅菌機が老朽化していることから、交換工事を実施する。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、幼稚園環境の整備を図る必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		幼稚園諸費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	教育総務課・庶務班	
									電話番号	443-1442	内線 2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	幼稚園教育の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (幼稚園配当)						実施根拠	八街市幼稚園設置条例		
直接の対象者(〜に対して)	全市立幼稚園園児						最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	・幼稚園運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・幼稚園教諭・特別支援員(臨時職員)の雇用管理に関する事務を行う。 ・幼稚園事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	臨時職員賃金	千円	9,165	7,340	8,253	14,462			
		2	需用費(消耗品費)3園分	千円	1,430	1,412	1,404	1,353			
		3	需用費(光熱水費)3園分	千円	3,897	4,008	3,928	4,336			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な幼稚園運営に寄与した。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	19,257	15,980	16,941	24,023				
	決算額		千円	17,882	15,297	16,210					
		特定・その他財源( )	千円	763	806	492					
		一般財源	千円	17,119	14,491	15,718					
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		共済費	995	役員費	667						
		賃金	8,253								
		需用費	6,008								

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	幼稚園運営に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
有効性	a	必要な経費を確保することにより、幼稚園生活を安定させることができた。		
効率性	a	幼稚園現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	幼稚園教育を受けるもの全てが対象である。	
総括評価	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	・幼稚園を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	・幼稚園を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。			

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		幼稚園施設維持管理費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	教育総務課・施設班	
									電話番号	443-1442	内線 2355
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	幼稚園教育の充実			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針	
直接の対象者(～に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。										
具体的な事業内容(～を行う)	・施設の修繕、樹木の伐採、浄化槽法定検査等を実施する。 ・園舎警備、浄化槽維持管理、受水槽維持管理、消防設備保守点検、樹木害虫駆除業務、遊具点検業務の委託業務及び送迎用駐車場・AED・複写機の賃借を行う。 ・幼稚園管理用消耗品及び備品の購入。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数	件	13	13	15	15			
		2	幼稚園施設の修繕契約数	件	12	14	20	20			
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の契約数	件	2	1	1	1			
		4	幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	2	2	6	6			
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	3,071	3,144	3,144	5,391			
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	1,175	838	1,188	1,200			
		3	各種検査、調査、樹木剪定等の実施	千円	54	22	22	22			
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	570	681	764	665			
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。										
④事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	5,068	4,710	5,451	7,278				
	決算額			千円	4,870	4,685	5,118				
		特定・その他財源( )		千円							
		一般財源		千円	4,870	4,685	5,118				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	1,188	使用料及び賃借料	1,444					
			役務費	22	備品購入費	764					
			委託料	1,700							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A	
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
					評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	元年度における取組のPRと方向性	・技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例: 照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) ・平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き平成30年度も測定を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・園児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育指導諸費							部 局	教育委員会	
								課等・班	学校教育課・指導室	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1446	内線	2367
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	教育支援センターの充実			
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )					実施根拠	学校教育法 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則		
	直接の対象者 (～に対して)	幼稚園・小・中学校教職員					最終的な受益者	市民		
	事業目的 (～という状態にするために)	充実した学校生活や学習支援を実現し、より開かれた園や学校づくりを推進していくために、カウンセラーを雇用し、相談体制の充実を図るとともに、学校評議員制度を活かした意見聴取や情報交換等を各園、各学校で展開する。								
	具体的な事業内容 (～を行う)	カウンセラーによるカウンセリングを行う。 カウンセラーの小学校への巡回相談を行う。 学校評議員会議の開催								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	カウンセラーによるカウンセリング		件数	294	161	131	250		
		カウンセラーの小学校巡回相談		回	12	12	12	12		
		学校評議員会議の開催		回	3	3	3	3		
	事業の効果									
事業効果に関する外部要因		H25年度からカウンセラーの小学校巡回相談実施								
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		カウンセリング件数は減少しているが、巡回相談等を通して問題の早期発見に努めている。徐々に相談件数は増え問題を抱えている児童・生徒・保護者の状態は好転している。								
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	52,293	52,929	56,328	62,490			
	決算額			千円	50,933	51,814	55,026			
		特定・その他財源( )		千円	4,733	4,871	5,419			
		一般財源		千円	46,200	46,943	49,607			
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	35	報償費	292	役務費	108		
			共済費	10,943	旅費	149	負担金	1,448		
			賃金	40,347	需用費	1,610				

Check 事務事業の評価							
区分		一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各学校からのカウンセリングの問い合わせや電話による教育相談の状況や、学校評議員による学校運営への提言が開かれた学校という安心感を生み、市民からのニーズは高い。		A		
	市の関与は妥当ですか	a	カウンセリングについては学校では相談しづらいケースもあり、学校評議員による学校運営への提言は客観性があり、不可欠である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	b	カウンセリングについては継続した関わりの中で、児童生徒の安定を目指している。また、学校評議員による学校運営への提言によって望ましい変容を生み出している。		B		
効率性	事業の効率性を高められますか	b	カウンセリングに関しては、即効性があるわけではないが、学校や関係諸機関と支援の方向性を連携することにより、効率を高めるよう努めている。学校評議員による活動は、限られた回数の中で目標が達成できるよう努めている。		B		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内の教育相談体制や教育条件、環境の整備の向上に結び付く事業であり、公平性に問題はない。	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校運営を向上させていくために、幼児児童生徒の個々のニーズに対応するため、さらに効率性に努めていく。		B		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1			
				評価者 2			
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	平成28年度よりカウンセラーに関する業務は教育支援センター費へ移行。学校評議員の提言については学校運営に更に生かしていけるように努めていく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
カウンセリングのニーズは、年々高くなっている。各家庭の環境も様々であり、心理的な側面とともに福祉的側面での関わりも必要である。教育委員会では、小学校に新たに校内適応指導教室を設置し、学習指導及び相談体制の構築に更に努めていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		外国語指導助手事業費						部 局		教育委員会	
								課等・班		学校教育課・指導室	
								電話番号		443-1446 内線 2367	
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		英語教育の充実		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		学校教育法施行規則 学習指導要領	
	直接の対象者(〜に対して)	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象						最終的な受益者		市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒	
	事業目的(〜という状態にするために)	八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立を図る。									
	具体的な事業内容(〜を行う)	市内各小中学校へのALTの派遣 市内各幼稚園、保育園の行事への派遣 市内国際交流イベントへの参画 市内各校の異文化教育のための環境整備									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	各学校から授業担当時数の確保の要望								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	小・中学校へのALTの派遣		人	5	5	9	9			
		各幼稚園への派遣		回	3	3	3	3			
		各保育園への派遣		回	3	3	3	3			
	事業の効果	英語に関する興味関心の高まり									
		異文化に対する理解の深まり									
		英語の能力の向上									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		ALTの授業を実施することにより、子どもたちの英語の質的な向上やコミュニケーション能力が高まった。								
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
(最終)予算額		千円	16,200	16,200	37,390	38,017					
決算額				千円	16,200	16,200	37,389				
		特定・その他財源( )		千円							
		一般財源		千円	16,200	16,200	37,389				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料 37,389								

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由			二次評価		
		必要性	a	2011年4月より小学校5・6年生で英語の授業が必修化され、ALTを活用した授業の必要性を求める意識は高まっている。			A
市民からのニーズは高いですか	a	外国語活動及び英語の授業は学習指導要領にも記載され必修となっている。ALTについて他市町では直接雇用をしているところもあり、市の関与は妥当であると考えられる。					
有効性	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。			A		
効率性	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も妥当である。			A		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように配置計画をしているので、受益が偏ることはない。		A		
総括評価	a	小学校における英語の授業の必修化が実施となってから4年目を迎える。外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集が組まれるほど高まっている。今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。			A		
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1			
				評価者 2			
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	英語における児童生徒へのきめ細かい指導、教職員への研修支援などがさらに充実される。今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。昨年度より、派遣業務委託となり、さらにALTに人数も増員したことから、より充実した教育実践が可能になると考えられる。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集が組まれるほど高まっている。英語における児童生徒へのきめ細かい指導、会話力・コミュニケーション能力を向上させていくためには、今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		教育支援センター管理運営費				所管課等	部 局	教育委員会
							課等・班	学校教育課・指導室
							電話番号	443-1446 内線 2367
							E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	教育支援センターの充実
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )				実施根拠	学校教育法 八街市教育支援センターの設置及び管理に関する条例	
直接の対象者(〜に対して)	全児童生徒、全保護者				最終的な受益者	市民		
事業目的(〜という状態にするために)	学校に登校できなくなった児童生徒の居場所を作り、心を安定させ学校に復帰させるために適応指導教室を設置し、学習支援や教育相談活動を行う。							
具体的な事業内容(〜を行う)	不登校児童生徒の居場所を確保するとともに、学習支援やスキル学習、教育相談を行うとともに、学校、保護者と連携し児童生徒の成長を支援する。							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	適応指導教室利用者	人	12	10	7	15	
		カウンセラーによるカウンセリング	件数	294	161	131	250	
		カウンセラーの小学校巡回相談	回	12	12	10	12	
	事業の効果	学校復帰児童生徒数	人	3	6	3	8	
事業効果に関する外部要因	29年度より中学生は自転車通学可とした。7月に保護者面談を実施した。通所児童生徒に対してソーシャルスキルトレーニングを行った。学校と積極的な連携をとるため、ケース会議等話をする機会を設けた。							
事業効果の総合分析(達成できたこと)	通所している児童・生徒については、少しずつ通所できる時間が長くなったり、学校へ登校することができた。学校復帰に向けての取り組みの成果は、年度内に学校復帰した人数の他、卒業生3名が通信制高等学校への進路決定ができたことにも現れている。							
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	10,835	12,090	12,213	12,131	
	決算額		千円	10,788	11,993	12,035		
		特定・その他財源( )	千円	6,781	7,415	7,537		
		一般財源	千円	4,007	4,578	4,498		
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	5,460	報償費	15			
		共済費	2,437	需用費	292			
		賃金	3,652	役務費	179			

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本市の長欠不登校児童生徒の支援については喫緊の課題であり、そのニーズは年々増加している。		A
		市の関与は妥当ですか	a	不登校児童生徒へ支援や未然防止は、将来の引きこもりを防止することとなり、市の財政に寄与するもので、必要である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	学校復帰も平成24年度は増加しており、卒業後の進路も全員が決まる等、効果が得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに臨時職員で対応しており、コストの削減に努めている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	不登校になる原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を確保することとなる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	八街市における本事業は、必要性和有効性を持っている。コストの削減に努めながらも充実した支援事業に努めていく。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
					評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	元年度における取組のPRと方向性	本年度は、家庭訪問担当学校教育相談員及びカウンセラー、電話相談員等市の人材を活用し、各小中学校との連携を密にして、不登校児童生徒の支援に努めていく。幼児・児童・生徒個々のニーズにさらに応えられるようにするため、平成25年度より小学校の巡回相談を行い、より活用を広げるとともに、PRに努める。なお平成28年度からカウンセラーに関する業務を教育指導諸費より移行。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了  学習及び進路指導について、必要と思われる教材・資料及び、施設設備について、コスト削減に努めながらも予算措置を要望し、充実した支援を行っていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	教育センター運営費								所管課等	部局	教育委員会		
										課等・班	学校教育課・指導室		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1446	内線	2362	
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							E-mail	gakkvo@city.yachimata.chiba.jp			
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実											
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	教育センター運営の充実						
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	学校教育法 八街市教育センターの設置及び管理に関する条例				
	直接の対象者 (〜に対して)	幼稚園・小・中学校教職員						最終的な受益者	市内園児・児童・生徒				
②	事業目的 (〜という状態にするために)	教職員の指導力及び資質を向上させ、たくましく生きる力を持った園児・児童生徒の育成に努める。											
	具体的な事業内容 (〜を行う)	学級経営・学習指導、教務主任、研究主任、学年主任、若年層教員や講師、教育相談、ケース会議、特別支援教育、プログラミング教育・情報モラル育成、道徳指導法、小学校外国語活動の領域について研修会を実施する。また、中学校群研修会、教務主任優良校研修視察、八街市教育講演会を実施する。研究指定を中学校区で行う。											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目												
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)						
	事業の実績	研修等実施数	回	23	21	24	24						
		講演会開催数	回	1	1	1	1						
		研究指定	校	3校区	3校区・二州小	3校区	3校区						
	事業の効果												
事業効果に関する外部要因	他市町村も夏季休業中を中心に研修会を実施している。学校群研修会、中学校区への研究指定は、本市独自のものです。												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	研修会及び講演会の実施により、教職員の指導方法に工夫や改善が見られるようになり、児童生徒の授業アンケートから分かりやすい授業や興味関心を高められる学習活動に対して、肯定的な回答が得られるようになってきた。												
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	450	2,288	2,140	2,056						
	決算額		千円	282	2,141	1,921							
		特定・その他財源( )	千円		205	202							
		一般財源	千円	282	1,936	1,719							
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			共済費	409	需用費	174							
			賃金	1,298									
			報償費	40									

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
有効性	a	千葉県標準学力テストの結果に僅かではあるが向上が見られるとともに、魅力的な学校づくりに教職員の研修が活かされている。		
効率性	b	教職員の異動や状況により、研修内容や取り組みの方法等に柔軟な対応が求められるため、効率性の追求にあたっては慎重を要する。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	研修会には、学校の実情で1校から最低1名参加し、その効果は市内の園児・児童生徒に反映されると考えられ、公平性に問題は無い。	A
総括評価	a	教育公務員特例法に「教員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」とある。教員の資質を高めるためには、継続して研修を実施する必要がある。		A
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	・夏季研修では、時代に即した研修の充実を図るため、MIM(多層指導モデル)の創設者や、精神科医・元大学の心理カウンセラーなど、より専門的な知識を持った講師を招き、充実を図る。 ・教職員の資質の向上と専門性を高めるための研修会への参加及び、各学校において教育活動の向上のための教育講演会を開催する。その際、私立幼稚園3園の取り組みも紹介することで、幼小中の連携をより図ることができるようにする。 ・教育センターだよりの創刊、ホームページの充実などを通して、市内の学校の支援にかかる情報提供を充実させる。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	各学校における教育活動及び研修による教職員の指導力向上のため最低限の予算措置、継続しての研修が必要である。また、教員の支援を充実させるために、専任職員の配置、指導主事の増員、現在は無料サービスのホームページを利用し運用しているが、有料利用のサービスにホームページをグレードアップすることで、コンテンツや資料検索をより充実させたホームページにしていく。		

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

## 教育委員会の事務事業評価シート

## 【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名	育て八街っ子推進事業費						部 局	教育委員会
							課等・班	学校教育課・指導室
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1446 内線 2361
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街					E-mail	<a href="mailto:gakkyo@city.yachimata.chiba.jp">gakkyo@city.yachimata.chiba.jp</a>
① 事務事業の概要	具体的施策	学校教育の充実						
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	連携教育の推進	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )					実施根拠	学校教育法	
直接の対象者 (〜に対して)	教職員及び児童生徒					最終的な受益者		
事業目的 (〜という状態にするために)	園児・児童生徒の生活の安定と健全育成をめざして、八街市における連携教育の在り方について研究し実践する。							
具体的な事業内容 (〜を行う)	1 学力向上のために授業改善を推進する。 2 継続的な連携指導項目の徹底指導を推進する。 3 学校と家庭、地域社会との連携を強化する。							
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	中学校区の連携教育プランの策定と実施		回	3	3	3	3
		連携教育アンケートの考察		回	1	1	0	0
		連携教育リーフレット作成と活用		回	1	1	1	1
事業の効果								
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		継続的な取り組みにより、学力向上の兆しが見られ、不登校児童生徒の出現率の減少傾向が確認できた。また、家庭学習の習慣化など保護者の意識の変容もみられている。						
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	578	356	307	291	
	決算額			千円	361	283	249	
		特定・その他財源( )		千円				
		一般財源		千円	361	283	249	
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費		68				
		使用料及び賃借料		181				

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	市民からのニーズは高いですか		a	「やちまた教育の日」の反響等から考えて、幼稚園や小・中学校で安心して生活し学ぶことができることへの市民のニーズは高まっている。	B
必要性	市の関与は妥当ですか	b	市内保育園、公立幼稚園及び小・中学校の効果的な連携を推進するために、全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	b	推進会議の開催や各実践から目標とする連携教育の在り方に近づきつつあるが、各園や学校間の活動を調整したり、広く市民のニーズに対応した実践を展開するために、一層の検討も求められる。	B			
効率性	事業の効率性を高められますか	b	達成目標に向けて事業内容の見直しや方策の改善を進め、効率性の向上に取り組んでいく必要がある。	B			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市内全体の教育条件及び教育環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。	A			
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	園児、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と学力向上のために、本事業の継続的な推進は必要な取り組みです。本事業の中核である連携教育は、その内容の修正や改善を図りながら一層の充実を目指すものです。	B			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1					
		評価者 2					
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	「学力向上」を目標とした「継続指導共通6項目」、「情報発信」の重視を今年度の重点とする。「落ち着いた園・学校生活の実現と、将来に夢を抱いて生活を送る」ことが学力向上につながることを施策の中心に置く。幼小中高連携を一層推進していく過程の中で、市内の園児及び児童生徒の生活安定と健全育成を図っていく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
会議の開催や、実践記録の作成に継続して取り組むことで、成果の検証や改善点を明らかにし、次年度以降の本事業の発展につなげる。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名	教育支援体制整備事業費						部 局	教育委員会
							課等・班	学校教育課・指導室
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1446 内線 2364
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					E-mail	gakvo@city.yachimata.chiba.jp
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実						
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	特別支援教育の充実	
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠	学校教育法	
	直接の対象者 (〜に対して)	市内保育園・幼稚園・小学校・中学校・八街高等学校				最終的な受益者	市民	
	事業目的 (〜という状態にするために)	各学校より得られた児童生徒にとって有効な支援方法を次の学校へ系統的につないでいく						
	具体的な事業内容 (〜を行う)	各チェックシート(保護者に児童生徒の生活面や学習面の状態や配慮を要する事項等を記入していただくシート)を前在籍校の保護者に記入していただき、それと担任による支援の引継ぎシートを後在籍校へ渡し、必要である児童生徒については個別の指導計画を作成して支援の方法をつないでいく。また、発達障害支援アドバイザー2名により、事前に園・学校に巡回訪問を行ったり、引き継いだ後にフォローアップ訪問を行ったりして、実態把握と早期支援に努める。						
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	チェックカード記入	人	355	1,032	973	1,008	
		研修会参加	人	31	31	31	31	
	事業の効果	引継ぎが必要な児童生徒の引継ぎ人数	人	20	240	300	350	
事業効果に関する外部要因		通常学級における支援に必要な児童生徒の引継ぎツール不足						
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		各園、校への巡回及び要請訪問により発達障害の疑いのある幼児・児童・生徒への手立てについて教員や保護者へ理解と方向性について周知し、適切な支援方法(マザーズホームやことばの教室、病院等の外部接続など)につなげることができた。また、チェックカードや個別の指導計画など、つなぎのツールを作成・検討することができ、系統的な引継ぎの形をつくることができた。						
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	5,319	1,550	2,460	3,189	
	決算額			千円	4,529	1,518	2,169	
		特定・その他財源( )	千円	4,520	495	718		
			一般財源	千円	9	1,023	1,451	
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		共済費	371					
		賃金	1,798					

Check 事務事業の評価					二次評価(総括)		
区分		一次評価	判定理由				
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	保護者の関心も高く、チェックシートへの記入等の協力は非常によくやっているので、ニーズは高いと考えられる。		A		
	市の関与は妥当ですか	a	各校への発達障害支援コーディネーターの派遣等で、事業の中心となっているため妥当と考える。				
有効性	期待された効果は得られていますか	b	引継ぎシートを各校にて活用し、スクリーニングの手立てとして活用事例は徐々に上がってきている。		B		
効率性	事業の効率性を高められますか	b	チェックシートや個別指導計画の作成に関して、検討をすることで、さらに効率性を高められると考える。		B		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	支援を必要とする児童生徒についてはより効果を得られる。	B		
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	保護者や先生方のニーズも高く、八街市の幼小中高連携教育にもつながる形で行っているため、さらに広めていきたい。		B		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1			
				評価者 2			
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	2名の発達障害支援アドバイザーを雇用し、つなぎの部分での活用を図り、チェックカード・個別指導計画(保護者記入・本人記入・教師記入)のツールを活用し、市内幼稚園、保育園、小学校、中学校、八街高等学校で幼児・児童・生徒の支援の引き継ぎができることが期待できる。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	2名の発達障害支援アドバイザーの雇用、活用をし、チェックカード、個別指導計画により市内すべての幼小中高の系統的な引継ぎを行っていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校教育振興費						部 局		教育委員会	
								課等・班		学校教育課・指導室	
								電話番号		443-1446 内線 2363	
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		基礎的・基本的な学力の定着		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	学校教育法			
直接の対象者 (～に対して)	市内小学校児童						最終的な受益者	市内小学校児童			
事業目的 (～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、児童の興味関心を高めるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。										
具体的な事業内容 (～を行う)	ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピューターの保守業務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業		回	159	107	96	160			
	事業の効果	児童の興味・関心の向上									
		専門的な知識・技能の伝達									
		備品購入(図書)									
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	23,816	38,522	57,562	123,333				
	決算額			千円	23,552	38,143	56,628				
		特定・その他財源( )	千円	147	124	116					
			一般財源	千円	23,405	38,019	56,512				
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費	298	委託料	19,078	負担金	52				
		需用費	8,904	使用料及び賃借料	24,485						
		役務費	1,002	備品購入費	2,809						

Check 事務事業の評価							
区分		一次評価	判定理由		二次評価		
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは、教育効果を高める上で重要なことであるという認識は高まっている。		A		
	市の関与は妥当ですか	a	新しい学習内容に即した地域人材の活用・図書教材の購入は、学習意欲の向上・国語力の育成等において重要であり、市の関与は妥当である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより、児童が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語における読む力の向上が期待できる。		A		
効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれると考える。	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各学校の教育活動を工夫・改善し児童生徒の学習意欲を高めるために重要である。特に、児童生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A		
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1			
				評価者 2			
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	地域のゲストティーチャー活用事業を推進することで、地域の力が子どもたちの学びの力にも大きくつながっていく。また、図書の購入に伴い、国語における読む力の向上に期待ができる。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
今後も学校教育に求められるものは多岐にわたる。時代のニーズに合わせた教育活動の実践のためにも、外部人材の活用や学校図書の充実など市内各校の支援を充実させていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		小学校教材備品等購入費				所管課等	部 局	教育委員会
							課等・班	学校教育課・学務班
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	443-1446 内線 2365
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail	<a href="mailto:gakkyo@city.yachimata.chiba.jp">gakkyo@city.yachimata.chiba.jp</a>
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校設備・備品の充実
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )				実施根拠	学校教育法	
直接の対象者(～に対して)	市立小学校児童				最終的な受益者	市立小学校児童		
事業目的(～という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。							
具体的な事業内容(～を行う)	市立小学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	9	9	9	9	
		事業の効果	教材備品購入費	千円	1,709	3,041	1,694	1,709
	事業効果に関する外部要因							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。					
	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	④ 事業コスト	(最終)予算額		千円	1,709	3,059	1,709	1,709
決算額		特定・その他財源( )	千円	1,709	3,041	1,694		
		一般財源	千円	1,709	3,041	1,694		
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 1,694						

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	市民からのニーズは高いですか		a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。	A
必要性	市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。				
有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。	A			
効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。	B			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 市内全小学校に対し整備しており、公平である。	A			
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。	A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		小学校理科教育振興用備品購入費						部 局	教育委員会	
当該事業が該当する個別計画等  (八街市総合計画) 2015		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	学校教育の充実							
実施方法		■ 直接実施	□ 業務委託	□ 補助金交付	□ 負担金	□ その他 ( )	実施根拠	学校教育法		
直接の対象者 (～に対して)		市立小学校児童					最終的な受益者	市立小学校児童		
事業目的 (～という状態にするために)		小学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。								
具体的な事業内容 (～を行う)		市立小学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	理科備品現有数	%	83.9	84.7	84.7	84.7			
		理科備品購入費	千円	1,109	1,128	1,126	1,130			
	事業の効果	事業効果に関する外部要因								
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)	市内各小学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し整備した。							
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)		
(最終)予算額		千円	1,130	1,130	1,130	1,130				
決算額		特定・その他財源( )	千円	1,108	1,128	1,126				
		一般財源	千円	553	553	543				
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費	1,126							

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
必要性	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
有効性	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。					
効率性	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。					
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備しており、公平である。				
総括評価	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。					
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校児童援助奨励費						部 局		教育委員会	
								所管課等		学校教育課・学務班	
								電話番号		443-1446 内線 2365	
								E-mail		gakkvo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		就学における経済的援助		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱	
	直接の対象者(～に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な児童の保護者						最終的な受益者		児童の保護者	
	事業目的(～という状態にするために)	経済的理由により就学が困難と認められる児童に必要な教育を受けさせるため。									
	具体的な事業内容(～を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	準要保護児童認定数		人	200	223	230	240			
								(実認定数)			
	事業の効果	準要保護児童認定率		%	6.2	7.1	7.5	8.0			
								(3/31児童数)			
	事業効果に関する外部要因		不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	16,650	17,659	18,641	20,466				
	決算額			千円	16,352	16,964	18,639				
		特定・その他財源( )		千円	1,744	1,704	1,517				
		一般財源		千円	14,608	15,260	17,122				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			扶助費 18,639								

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		
	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。		A			
有効性	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B			
効率性	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B			
公平性	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の透明化・厳格化の推進が更に必要である。	B			
総括評価	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。		B			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公正平を確保するため、基準の透明化・厳格化の推進を図る。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。基準の厳格化について、推進する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	中学校教育振興費								部 局	教育委員会
										課等・班
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 ① 事務事業の概要	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	学校教育の充実								
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		基礎的・基本的な学力の定着		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )							実施根拠	学校教育法	
直接の対象者(～に対して)	市内中学校生徒							最終的な受益者	市内中学校生徒	
事業目的(～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、生徒の興味関心を高めると共に、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。									
具体的な事業内容(～を行う)	ゲストティーチャーの招聘、図書の購入、各種大会出場のための送迎用バスの借り上げを行う。また、教育用コンピュータ保守業務を行う。									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業		回	8	13	8	20		
	事業の効果	生徒の興味・関心の向上								
		専門的な知識・技能の伝達								
		備品購入(図書)								
	事業効果に関する外部要因	外部人材の活用、図書の充実、コンピュータの保守業務については、市町村の状況に合わせた形で実施されている。大会への移動については、バスの保有等により様々である。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図る。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	22,144	22,358	29,931	63,263			
	決算額			千円	21,758	21,872	28,958			
		特定・その他財源( )	千円							
	一般財源		千円	21,758	21,872	28,958				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	65	委託料	7,025	負担金及び補助金	973			
		需用費	6,820	使用料及び賃借料	11,253					
		役務費	433	備品購入費	2,389					

Check 事務事業の評価										
区分		一次評価	判定理由						二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。						A
		市の関与は妥当ですか	a	外部人材の活用、また新しい学習内容に即した図書教材の購入は生徒の国語力を育成する上で重要と考える。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	生徒の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより生徒が意識的に学習に取り込むと考える。図書の購入に伴い、国語力の向上が期待できる。						A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各中学校においてが教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。						A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。					A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各中学校の教育活動を工夫・改善し、生徒の学習への意欲を高めるために重要である。特に生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。						A
外部評価										
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい						評価者 1	
									評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向										
⑥	元年度における取組のPRと方向性	ゲストティーチャーの招聘、学校図書館の図書の購入、各種大会出場のため最低限の予算措置、及び事業の実施。教育用コンピュータ保守業務を行う。								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
		各中学校生徒の学習意欲を高め、学力の向上のため継続して実施する。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		中学校教材備品等購入費				部 局	教育委員会	
						課等・班	学校教育課・学務班	
						電話番号	443-1446	内線 2365
						E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校設備・備品の充実
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )				実施根拠	学校教育法	
	直接の対象者(～に対して)	市内中学校生徒				最終的な受益者	市内中学校生徒	
	事業目的(～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。						
	具体的な事業内容(～を行う)	市立中学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。						
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	4	4	4	4	
		事業の効果	教材備品購入費	千円	14,471	2,634	1,485	1,485
	事業効果に関する外部要因							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。					
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)
(最終)予算額		千円	1,485	2,634	1,485	1,485		
決算額			千円	1,471	2,634	1,485		
		特定・その他財源( )	千円					
		一般財源	千円	1,471	2,634	1,485		
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 1,485						

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
市民からのニーズは高いですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
有効性	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。					
期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。					
効率性	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。					
事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。					
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A			
事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A			
総括評価	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A			
総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1				
	B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2				
C 検討の余地あり							
D 検討の余地は大きい							
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
事務事業の今後の方向性	学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		中学校理科教育振興用備品購入費						所管課等	部 局	教育委員会
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	学校教育の充実							
実施方法		■ 直接実施	□ 業務委託	□ 補助金交付	□ 負担金	□ その他 ( )	実施根拠	学校教育法		
直接の対象者 (～に対して)		市立中学校生徒					最終的な受益者	市立中学校生徒		
事業目的 (～という状態にするために)		中学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。								
具体的な事業内容 (～を行う)		市立中学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	理科備品現有率	%	78.1	79.3	79.3	80.0			
		事業の効果	理科備品購入費	千円	995	1,015	1,020	1,020		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し、整備した。							
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)		
決算額		(最終)予算額	千円	1,020	1,020	1,020	1,020			
		特定・その他財源( )	千円	994	1,015	1,020				
		一般財源	千円	496	497	496				
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費	1,020							

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
必要性	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
有効性	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。					
効率性	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。					
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A			
総括評価	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備をしているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1				
	B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2				
C 検討の余地あり							
D 検討の余地は大きい							
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		中学校生徒援助奨励費				部 局	教育委員会	
						課等・班	学校教育課・学務班	
						電話番号	443-1446	内線 2365
						E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	就学における経済的援助
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )				実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱	
直接の対象者(〜に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者				最終的な受益者	生徒の保護者		
事業目的(〜という状態にするために)	経済的理由により就学が困難と認められる生徒に必要な教育を受けさせるため。							
具体的な事業内容(〜を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	準要保護生徒認定数	人	115	120	130	135	
						(実認定数)		
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	6.0	6.6	7.7	8.0	
						(3/31生徒数)		
	事業効果に関する外部要因	不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。							
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	15,231	19,607	23,102	28,252	
	決算額		千円	14,426	19,181	19,793		
		特定・その他財源( )	千円	1,410	2,143	1,871		
		一般財源	千円	13,016	17,038	17,922		
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		扶助費 19,793						

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
有効性	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。		
効率性	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		
公平性	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の透明化・厳格化の推進が更に必要である。	
総括評価	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公正平を確保するため、基準の透明化・厳格化の推進を図る。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。基準の厳格化について、推進する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		学校保健管理費				所管課等	部 局	教育委員会		
							課等・班	学校教育課・学務班		
							電話番号	443-1446	内線 2367	
							E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	健康づくりの推進		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠	学校保健安全法			
	直接の対象者(～に対して)	幼稚園児・児童・生徒・教職員				最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的(～という状態にするために)	・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食の提供。 ・学校環境衛生を維持・管理し、健康的な学習環境を確保する。								
	具体的な事業内容(～を行う)	・幼稚園児、児童、生徒の健康診断・教職員健康診断・就学時健康診断・環境検査測定業務・給食補助員の配置。								
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断	人	6,644	6,024	5,743	5,500		
		2	環境検査(水質・空気・照度等)	園 学校数	16	16	16	16		
		3	給食補助員の数	人	18	18	18	18		
	事業の効果	1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療	人	6,644	6,024	5,743	5,500		
		2	学校環境の衛生的な維持	園 学校数	16	16	16	16		
		3	安全で衛生に配慮した学校給食の提供	人	18	18	18	18		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。							
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)		
(最終)予算額		千円	31,882	30,556	30,261	31,375				
決算額				千円	31,064	29,959	29,822			
		特定・その他財源( )	千円							
		一般財源	千円	31,064	29,959	29,822				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報酬	8,542	役員費	1,424	備品購入費	249		
			賃金	11,205	委託料	7,873				
			需用費	466	賃借料	63				

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療。学校環境を衛生的に維持した。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	給食補助員については、臨時職員であり、時間給対応により委託よりも安価となっている。健康診断検査等は健診専門機関へ委託。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
					評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	元年度における取組のPRと方向性	各健康診断については年間計画に沿って適正に実施する。検査対象年齢の見直しを行う。未受診者の事後指導を実施する。また、労働者自身によるストレスへのセルフケアと、事業者によるストレスの要因の低減を目的としたストレスチェック制度を実施する。給食配膳室の衛生管理を徹底する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了  学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		学校保健諸費						部 局	教育委員会	
								課等・班	学校教育課・学務班	
								電話番号	443-1446	内線 2367
								E-mail	gakkvo@city.yachimata.chiba.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
(八街市総合計画) 2015		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	健康づくりの推進		
① 事務事業の概要		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )				実施根拠	学校保健安全法		
		直接の対象者 (～に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事				最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者		
		事業目的 (～という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。							
		具体的な事業内容 (～を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会)							
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施										
		区分	単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	5,486	5,172	4,910	4,770	
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	180	178	195	191		
		事業の効果	1	児童・生徒に対する共済給付	人	520	411	384		
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会の健全な育成	千円	180	178	195	191		
		事業効果に関する外部要因								
		事業効果の総合分析(達成できたこと)								
		区分	単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
④ 事業コスト		(最終)予算額	千円	5,077	4,857	4,636	4,463			
		決算額	千円	5,026	4,805	4,573				
		特定・その他財源( )	千円							
		一般財源	千円	5,026	4,805	4,573				
		30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	負担金	4,573						

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		
必要性	a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。					
有効性	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。 学校保健会等の健全な運営が図られる。					
効率性	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。					
公平性	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。				
総括評価	a	安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。					
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センター相互の連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 ケガ、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	社会教育振興費							所管課等	部局	教育委員会	
									課等・班	社会教育課・社会教育推進班	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1464	内線
	施策の大綱	五の街 めざまし! 心の豊かさを感じる街							E-mail	shakvo@city.yachimata.lg.jp	
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯学習環境の整備・社会教育活動の推進・芸術文化の振興							生涯学習推進体制の確立・学習情報の収集と提供・人材バンクの登録と提供・学習機会の充実・家庭教育の支援・芸術文化事業の充実・芸術文化活動団体への支援		
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業					
① 事務事業の概要	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )							実施根拠	教育基本法、社会教育法、文化芸術基本法、八街市社会教育委員会に関する条例、八街市社会教育指導員の設置等に関する規則、八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則	
	直接の対象者 (~に対して)	市民							最終的な受益者	市民	
事業目的 (~という状態にするために)	社会教育委員、社会教育指導員・家庭教育指導員を委嘱し、それぞれの専門的な知見を活かし、本市の社会教育の充実を図る。また、市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会、発表会、展示会等を開催し、生涯にわたり生きがいのある生活と心がかようまちづくりを目指し、市民の学習や文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。										
具体的な事業内容 (~を行う)	1. 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について検証や提案、教育委員会の諮問に対する答申や提言を行う。 2. 社会教育指導員による高齢者学級や生きがい短期大学への指導・助言、家庭教育指導員による家庭教育相談業務や幼・小・中学校で開催する家庭教育学級への指導・助言を行う。 3. 市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会等を開催する。 4. 八街市民音楽祭、市民文化祭、芸術作品展覧会等を開催する。										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	文化施設整備									
		文化ホールの建設									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度(目標)				
		1 高齢者学級の実施(自主学級)	学級数	9	9	9	9				
		2 家庭教育学級の実施	学級数	15	15	15	15				
		3 家庭教育講演会の開催	回	1	1	1	1				
		4 社会教育振興大会の開催	回	1	1	1	1				
		5 輝く女性の研修会の開催	回	1	1	1	1				
		6 市民文化祭の実施	回	1	1	1	1				
	7 市民音楽祭の実施	回	1	1	1	1					
	事業の効果	1 高齢者学級開催数	回	67	60	68	65				
		2 家庭教育学級修了者数	人	220	193	191	200				
		3 家庭教育講演会の参加者数	人	334	288	320	300				
		4 社会教育振興大会の参加者数	人	280	175	189	200				
		5 輝く女性の研修会の参加者数	人	200	208	224	250				
		6 市民文化祭の出演・出品者数	人	1,039	1,047	827	1,000				
7 市民音楽祭の出演者・来場者数		人	980	702	720	800					
事業効果に関する外部要因	家庭教育学級の学級生数は、児童・生徒の減少や社会状況の変化により影響を受ける。各種事業への参加者・団体の固定化や人口減、少子高齢化。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	高齢者学級・家庭教育学級に社会教育指導員・家庭教育指導員が関わることにより、目標に沿った学習計画を立て、充実した内容で学級運営を行うことができた。社会教育振興大会は、予想に反して前年度に比して参加者が減となった。市民文化祭、市民音楽祭、芸術作品展は、市民との協働による事業実施ができた。										
④ 事業コスト	区分	単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度(目標)					
	(最終)予算額	千円	6,408	8,854	20,002	8,492					
	決算額	千円	6,288	8,507	7,278						
		特定・その他財源( )	千円	90	563	720					
		一般財源	千円	6,198	7,944	6,558					
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報酬	3,619	共済費	952	報償費	233					
	需用費	385	役務費	371	委託料	250					
	工事請負費	546	備品購入費	138	負担金及び補助金	719					

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の価値観が多様化する中、社会教育事業に市民ニーズを反映させるための社会教育委員、高齢者学級及び家庭教育学級を運営するための社会教育指導員及び家庭教育指導員の存在は大きい。また、生涯学習や文化芸術に関する市民の関心は高まっており、今後も市民ニーズは増大・複雑化すると思われる。	A
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育委員、指導員は、社会教育・生涯学習を推進するため大きな役割を担っている。また、文化芸術基本法により市が地域の特性に応じた施策を実施することから、市民に文化芸術の発表・鑑賞機会を提供することは必要である。なお、市民が主役の事業については協働で開催しており、市民ニーズを踏まえた学習・発表の機会を提供することは市の責務である。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	市民の意見を事業に反映させることで事業の充実が図られ、講演会や大会を開催することで市民への学習機会の提供につながっている。また、委員、指導員等の指導・助言により円滑な事業の実施に繋がり、多数の市民が文化芸術活動に参加している。	B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	専門知識を有する委員、指導員の指導・助言により効率的な事業の実施を図るとともに、ボランティアの活用等により経費の節減を図っている。市民が主役の行事は、協働により多くの事業を実施している。	B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 講座等で材料費・保険料等が必要な場合は参加者の負担としている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	少子高齢化や家庭教育の重要性が注目されている現代において、社会教育委員や指導員の指導・助言のもと、地域力の向上につながる講演会や講座等を実施することができた。また、市民が主体的に参加できる事業を企画し、市民との協働により各種事業を実施することができた。今後は、参加者の固定化や減少化、会場施設の充実が課題である。	B
外部評価					
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	
				評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	元年度における取組のPRと方向性	家庭教育の重要性の啓発、社会教育振興大会の充実を図り、市民に社会教育の重要性を訴える。より多くの人に周知し、興味を持ち、事業に参加してもらえるよう、市広報、ホームページ、メール配信等の情報媒体を活用したPRを行う。また、優れた文化芸術活動や鑑賞機会の提供を推進する。社会教育施設の今後の在り方について調査する。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 多岐にわたる市民の学習ニーズに応えるために、より充実した事業を展開や協働による事業の実施を推進する。また、市民文化の向上を図り、文化芸術活動の発表・鑑賞機会への参加を促す。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	青少年健全育成費						所管課等	部 局	教育委員会	
								課等・班	社会教育課・社会教育推進班	
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	青少年の健全育成				地域ぐるみの育成活動・青少年健全育成事業の推進 こども110番事業の支援・青少年犯罪の防止				
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業				
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (こども110番推進委員会)				実施根拠	社会教育法			
	直接の対象者 (～に対して)	市民・こども110番推進委員会				最終的な受益者	市民			
事業目的 (～という状態にするために)	青少年教育及び啓発活動をととして市民による青少年の健全育成を推進する。 また、子どもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所の確保する。 さらに、子どもたちの調和のとれた人間形成を図るとともに市民の憩いの場を提供するため、自然体験型の学習機会を提供する。									
具体的な事業内容 (～を行う)	青少年教育事業、青少年相談員の委嘱、市民に対する啓発活動等。 協力世帯募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入による、こども110番事業の支援。 子どもと大人が一緒に行うタケノコ掘り体験施設及び市民に親しまれる施設(憩いの場)とするためのたけのこの里の維持管理。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年健全育成								
		青少年の素行改善								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度(目標)			
	事業の実績	1	青少年相談員主催事業の実施	事業	2	2	2	2		
		2	放課後子ども教室開設数	教室	2	3	3	5		
		3	通学合宿の実施	回	2	2	2	2		
		4	成人式の実施	回	1	1	1	1		
		5	こども110番の家協力募集チラシ配布数	枚	1,058	1,083	1,057	1,000		
		6	タケノコ掘り体験学習期間の実施日数	日	31	23	36	36		
	事業の効果	1	夏休み交流会の参加者数	人	1,175	1,413	1,171	1,500		
		2	少年少女のつどい大会参加者数	人	67	26	悪天中止	50		
		3	放課後子ども教室参加者数	人	194	210	192	230		
		4	通学合宿の修了者数	人	37	35	40	40		
		5	成人式の参加者数	人	626	591	591	600		
		6	こども110番の家協力世帯数	世帯	1,935	1,940	1,940	1,950		
		7	タケノコ掘り体験者数	人	326	428	299	300		
事業効果に関する外部要因	少子化に伴う対象者数・参加者数の減少。健全育成事業及び啓発活動の実施に当たっては、青少年相談員やボランティアの協力が不可欠。こども110番事業は、市小中学校PTA連絡協議会による取り組み。タケノコ掘りの体験学習は、タケノコの発育状況により期間を短縮せざるを得ない場合がある(26～28年度は短縮しなかったが29年度は短かかった)。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校・家庭・地域の連携の下、青少年健全育成事業や啓発活動を実施し、その重要性をアピールできた。 こども110番支援事業では、事件・事故の発生時に子どもが逃げ込める場所を確保するとともに、看板を設置していただくことで、青少年への犯罪に対する抑止効果を発揮している。 たけのこの里体験学習では、子どもを含めたグループ等によるタケノコ掘りにより、自然体験や協力し合う心、親子の恰好のふれあいの場とすることができ、地域教育力や家庭教育力の向上につなげることができた。									
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	3,567	3,863	4,852				
	決算額			千円	3,293	3,588	4,569			
		特定・その他財源( )	千円	805	1,256	1,158				
		一般財源	千円	2,488	2,332	3,411				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	1,179	需用費	866	役務費	231			
		委託料	508	賃借料	160	工事請負費	277			
		備品購入費	787	負担金及び補助金	561					

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由	二次評価
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	次代を担う青少年を健全に育成することは社会全体が必要としている。児童・生徒を凶悪犯罪から守ることは社会的な課題であり、こども110番の家制度の意義は大きい。たけのこの里は自然体験施設として利用者からは好評である。	B
	市の関与は妥当ですか	b	青少年の健全育成は社会的な課題である。学校・家庭・地域の連携を図り、市が各種施策を展開することは妥当である。ただし、たけのこの里の管理運営方法については検討を要する。	
有効性	期待された効果は得られていますか	b	青少年教育事業では、子どもたちに様々な体験活動をさせることで、青少年健全育成につながる事ができた。また、こども110番支援事業では、児童・生徒に事件・事故遭遇時に避難できる場所があるという安心感を与えとともに、犯罪の抑止効果を発揮している。たけのこの里では、体験活動がより豊かな人間性の形成や思考・理解の基盤づくりに役立つと考えるが、立地条件等から特定の市民の利用に限定される。	B
効率性	事業の効率性を高められますか	b	関係団体の協力を得ながら必要最小限の予算で各種事業を実施している。こども110番支援事業では、市PTA連絡協議会や学校と連携することで事業の効率化を図っている。なお、周知看板の交換作業等を職員が実施することで経費節減に努めている。たけのこの里管理費については、委託料の減額に伴い職員による直営作業が増大しているが、時間を割くことが困難になっている。	B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり 各種事業の周知は全児童・生徒を対象に行い、材料費・保険料等の実費は参加者の負担としている。たけのこの里は立地条件が偏っているが、利用に際しては教育施設（自然体験）として無料が適当と考える。 <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	青少年を取り巻く環境が大きく変化している現代において、青少年健全育成事業は重要であり、さらなる拡充が求められるとともに時代に対応した各種事業を展開する必要がある。こども110番支援事業では「こども110番の家」の看板を掲げることで地域の防犯意識の高さを示し、犯罪抑止効果を発揮するとともに、子どもたちが安心して登下校できる環境を提供しているが、協力世帯の伸び悩みや現状把握が課題である。タケノコ掘りは体験者には好評であるが、体験期間は短いため、体験期間以外の時期の活用方法が課題である。また、市の関与のあり方に検討を要する。	B

外部評価			
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない	評価者 1	
	B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		
	C 検討の余地あり	評価者 2	
	D 検討の余地は大きい		

Action 今後の事務事業の方向

元年度における取組のPRと方向性	青少年健全育成の重要性を認識するための啓発運動を実施するとともに、子どもを対象とする各種事業の周知に努める。こども110番支援事業では、各種媒体の活用や新入生がいる世帯にリーフレットを配布し、市民への周知を図る。また、協力世帯増加のための各学校におけるプレート残数確認や、周知看板の劣化状況確認等を実施する。タケノコ掘り体験期間は放射能検査後、5月のゴールデンウィークまでの延長を行う。
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向
	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	青少年健全育成の中核組織となる「八街っ子サポート連絡協議会」を中心に、学校・家庭・地域が連携した事業を展開し、事業の成果の検証を行う。こども110番の家協力世帯を拡充することにより、安全で安心なまちづくりの推進を図る。たけのこの里の維持管理では、職員による作業が増大し、効率性を欠いている。市としての活用方法を検討する必要がある。

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		文化財保護費				部 局	教育委員会	
						課等・班	社会教育課・文化財班	
						電話番号	443-1464	内線 14
						E-mail	shakvo@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	文化財の保護・継承					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	文化財保護意識啓発活動・指定文化財の拡充
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (文化財ボランティアとの協働事業)				実施根拠	文化財保護法 千葉県文化財保護条例 八街市文化財保護に関する条例 外	
直接の対象者 (〜に対して)	①市民、土木工事等を行う者、文化財 ②市指定文化財所有者・管理者・保持者				最終的な受益者	市民		
事業目的 (〜という状態にするために)	市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。							
具体的な事業内容 (〜を行う)	<input type="checkbox"/> 指定文化財等の指定・管理・活用 <input type="checkbox"/> 埋蔵文化財の取扱い(照会・発掘調査等) <input type="checkbox"/> 各種文化財の保護 <input type="checkbox"/> 市指定無形民俗文化財保持者への支援 <input type="checkbox"/> 文化財ボランティアの育成及び活動支援 <input type="checkbox"/> 市民へ郷土の歴史・文化を学ぶ機会の提供							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	<input type="checkbox"/> 指定文化財等の指定・管理・活用 <input type="checkbox"/> 文化財ボランティアの育成及び活動支援					
・指定文化財(史跡・記念物)に関する管理等に重点を置くよう要望がある。 ・文化財ボランティアの積極的に活用するよう要望がある。								
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	出前講座の実施	回	12	11	11	12	
		文化財保護周知用立看板年間設置数	基	0	2	2	1	
		埋蔵文化財の取扱い(確認等)	件	186	166	162		
	事業の効果	出前講座の年間受講者数	人	299	277	268	280	
		文化財保護周知用立看板の総設置数	基	76	77	77	78	
		各種指定文化財の保存・整備活動数	回	21	23	20	22	
	事業効果に関する外部要因	・埋蔵文化財の取扱いや発掘調査等の件数は、民間の開発事業と実施箇所依存するため、年度による件数の増減は流動的となっている。 ・30年度の文化財保護周知用立看板の設置数は2基であるが、2基とも既存看板の破損等による交換・修繕設置のため、総数は現状維持となっている。						
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	①文化財の指定に向けて整備を進めている「こえっばの弁天遺跡」について地形測量等を実施した。 ②指定文化財「小間子牧野馬捕込跡」の整備として土手の崩落防止のため一部笹を植樹し、被害の減少と景観保全に対応した。 ③埋蔵文化財の取扱い等について、土木工事等を実施する事業者に対し適切な指示・協議を行い、円滑に事業を推進している。 ④文化財ボランティアは、定期的な活動のみならず、指定史跡や天然記念物の整備や普及、講習会等を実施した上で、文化財ガイド等にも参加していただいた。 ⑤出前講座の実施回数は現状維持であるが、新たに全2回の土器づくり講座を実施し、34人の参加を得た。						
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	1,436	3,734	2,650	3,942	
	決算額		千円	964	3,354	2,092		
		特定・その他財源( )	千円					
		一般財源	千円	964	3,354	2,092		
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	51	委託料	1,738			
		報償費	20	負担金及び補助金	77			
		需用費	64	備品購入費	136			

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	市民からのニーズは高いですか	
必要性	市の関与は妥当ですか	a	文化財の規模等を勘案しながら実施しており、法・条例に基づく事業に関しては妥当な水準である。文化財保護事業にいたっては、補助金の減額や一事業に対し複数年度で段階的に実施するなど、財政状況を加味しながら対応している。	
有効性	期待された効果は得られていますか	b	全ての事業成果及び市民からの期待値を数値として表し、把握することは難しいが、法・条例に基づく事業については滞りなく推進している。また、文化財の保存・活用事業においても、ボランティア等の応援を頂きながら整備を実施しており、予算・支出に配慮しながら、上位施策である市民文化の継承に寄与している。	B
効率性	事業の効率性を高められますか	a	出前講座・ボランティア活動支援等はわずかな消耗品費以外の支出はない。複数年度に渡る史跡整備においては市教委負担が大きくなることから、県担当者との協議を持ち、令和元年度から国・県の補助金(補助率62.5%)を導入できることとなった。	A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・本調査費用等、応分の負担をお願いしている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	文化財の保存・活用及び法・条例に基づく事務・調査については、予算規模を考慮しながら実施している。また、市民の文化財等に関する認知度を向上させるため、各種冊子の利用や出前講座等を実施しているが、引続き継続的な取り組みが必要である。	A
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1  評価者 2
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数年度にまたがり、史跡の指定に向けた調査・整備を推進中であり、令和元年度は印旛郡市文化財センターに委託し保存目的の発掘調査を実施するとともに、その後の整理について関係諸機関と調整を進める。また、今後、5年毎に予定している報告書の刊行に向けて、整理・公開できる体制を整える。</li> <li>・文化財班として、課内のみならず郷土資料館と公民館、双方の事業に効果的・効率的な事業(計画)が行えるよう協力して行く。</li> <li>また、文化財ボランティアにガイド等の啓蒙普及活動にも協力いただき、官民の協働で文化財の保護・普及を進める。</li> </ul>			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡保護を目的とした発掘調査・整備等を実施しながら、指定文化財の拡充を図る。</li> <li>・埋蔵文化財の取扱い等については法・条例に基づいて進めているが、現在の体制・対応を維持できるよう、事業者等へ理解と協力を求めている。</li> <li>また、文化財保護については、市民の理解・認識を深めるために、文化財周知用立看板や各種講座等の普及活動を充実させ、文化財ボランティア等を活用しながら官民協働での保護意識・体制づくりを推進する。</li> </ul>			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中央公民館管理運営費						部 局	教育委員会		
								課等・班	中央公民館・管理事業班		
								電話番号	443-3225	内線	
								E-mail	c.kominkan@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	中央公民館の学習環境整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例		
直接の対象者(〜に対して)	市民						最終的な受益者	市民			
事業目的(〜という状態にするために)	学術及び文化に関する各種講座、こうみんかん祭等の事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。										
具体的な事業内容(〜を行う)	学術及び文化に関する各種講座等、こうみんかん祭、ひまわり絵画展の開催。公民館運営審議会において事業の企画実施等につき調査審議。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から備品等の整備要望が出ている。								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	学術及び文化に関する各種講座の開催	回	14	18	20	20			
		2	こうみんかん祭	回	1	1	1	1			
		3	ひまわり絵画展	回	1	1	1	1			
	事業の効果	1	主催事業参加人数(延べ人数)	人	1,945	1,633	1,487	2,000			
		2	来館者数	人	4,334	5,672	4,727	5,000			
		3	出展者数	人	1,041	1,166	1,164	800			
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		各種講座の開催により、社会教育の推進という施策の実現に有効な手段となっている。単なる知識学習だけでなく参加者間のコミュニケーションや人間関係を深めることができた。								
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
(最終)予算額		千円	18,819	18,445	23,293	21,583					
決算額				千円	16,925	18,165	22,585				
		特定・その他財源(使用料)		千円	2,407	2,457	2,684				
		一般財源		千円	14,518	15,708	19,901				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	707	使用料及び賃借料	1,523						
		需用費	10,347	備品購入費	496						
		委託料	7,505								

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		市内唯一の公民館として実際の生活に即する各種事業を行い、日常生活に密着した総合的な社会教育施設として必要不可欠である。		
	a	社会教育法で公民館の目的・事業が示されており、实际生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を市として行うことは妥当である。					
有効性	a	すべての市民を対象としているため効果はあると思われる。各種講座時のアンケート結果では、受講者の満足度は高いことから期待された効果は得られている。					
効率性	a	各種研修会への参加、社会教育主事講習等の受講により職員の専門性を高めて、事業の効率性を高めていくことができる。					
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公民館の運営に関する事業計画は公民館運営審議会の意見を聞いて教育委員会が決定している。また、受講者から材料に係る経費は徴収しており、受益者負担としているため適切である。				
総合評価	a	学びを通じた住民相互の出会いや交流・連携を促進する。今後とも広報やホームページ等を活用して主催事業のPRや社会教育関係各課・関係団体との連携を積極的に行い、市民のニーズに応えた各種事業を実施する。					
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	主催学習講座でのアンケート調査や社会教育関係各課・団体等との協議を実施し、市民の社会教育に対するニーズを把握する。市民からの要望やアンケート結果・社会情勢等を考慮しながら次年度の各種事業を計画し、公民館運営審議会の審議により多くの市民が参加できるような事業展開を行っていく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	生涯学習活動の場を提供し、教育・文化活動を展開するのは公民館の重要な役割である。今後もより市民のニーズや時代にあった主催事業を展開するとともに、公民館を地域づくりの拠点となるような事業の展開を図っていく必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	中央公民館整備事業費						部 局	教育委員会			
							課等・班	中央公民館・管理事業班			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-3225	内線	
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	c.kominkan@city.yachimata.lg.jp		
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進									
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	中央公民館整備事業				
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例		
	直接の対象者 (~に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
②	事業目的 (~という状態にするために)	社会教育・生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている中央公民館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。									
	具体的な事業内容 (~を行う)	・エレベーター更新工事                      ・エレベーター更新工事監理業務 ・床改修工事(視聴覚室・音楽室・応接室) ・非常用放送設備改修工事 ・空調機取替工事(工芸工作室) ・北棟女子トイレ改修工事 ・南棟2階西面外壁改修工事									
	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から施設の改修整備要望が出ている。								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	設計監理業務	件	2	1	1	0			
		2	施設等改修工事	件	2	2	6	2			
		3									
	事業の効果	1	設計監理業務	千円	951	951	1,080	0			
		2	施設等改修工事	千円	31,385	4,087	29,723	3,118			
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		工事に伴う設計・監理・工事の事務手続きを迅速に行い、利用者・市行事にできる限り影響が少ない期間で工事を完成することができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	32,336	5,038	51,759	3,118				
	決算額		千円	32,327	5,038	30,803					
		特定・その他財源(使用料)	千円	24,668		19,500					
		一般財源	千円	7,659	5,038	11,303					
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料	1,080							
			工事請負費	29,723							

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	社会教育法で公民館を設置し、市民への生涯学習の場を提供し、社会教育事業を行う団体を支援することが規定されている。		
有効性	a	公民館は、市民の生活文化振興上、必要不可欠であり施設の早期改修・計画的な改修は最も有効な手段である。		
効率性	a	施設の老朽化は進んでいるが、計画的に施設を改修することにより事業の効率性を高めることができる。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	整備事業については、その効果を考慮しなければならず、コスト削減は難しい状況にあるが、老朽化した施設補修に関し緊急性の高いものから計画的に改修を実施している。	A
総合評価	b	中央公民館は、開館から39年(昭和54年11月)余り経過し、施設改修費等、今後数年間は多大な財源が必要となる。また、公民館にかわる文化施設が市内に無いことから、改修に伴う施設の休館等で市民の文化活動にも影響が出る恐れがある。		A
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	
	B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	
C 検討の余地あり				
D 検討の余地は大きい				
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	市民が公民館を安全に安心して利用できる環境整備とサービスの提供を確保する。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
事務事業の今後の方向性	開館から39年余り経過し施設設備の老朽化が著しく整備計画の見直しを図る。なお、早期の改修が望ましいことから事業を拡充していく必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)					部 局	教育委員会
							課等・班	図書館・管理班
							電話番号	444-4946 内線
							E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	図書館機能の充実
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則
	直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者					最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者
事業目的(〜という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備・維持管理							
具体的な事業内容(〜を行う)	・臨時職員の雇用：図書装束の整備、配架、返却などの事務補助 ・業務委託：清掃、警備、電気工作物保安管理、消防設備保守点検、空調設備保守点検業務など ・機器の賃借、使用：複写機、トイレ洗浄・静菌システムの賃借、書誌データなどの使用 ・施設、設備等の修繕 ・図書館協議会							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	老朽化した施設への改善要望(トイレ、インターロッキング、空調)が多数寄せられている。					
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	1	臨時職員雇用人数	人	10	11	11	10
		2	各種業務委託件数	件	9	11	9	9
		3	各機器等の賃借・使用件数	件	5	6	6	7
		4	施設、設備の修繕件数	件	3	4	16	7
		5	図書館協議会	回	2	3	2	2
事業の効果								
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	臨時職員の雇用や施設、設備の維持管理などにより、安心・安全な環境のもとで、利用者に対して迅速なサービスを提供することができた。							
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	32,562	31,279	34,511	28,997	
	決算額			千円	32,562	31,108	34,133	
		特定・その他財源( )	千円		309	235		
		一般財源	千円	32,562	30,799	33,898		
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金	10,053	光熱水費	5,590			
		委託料	6,380	修繕料	3,131			
		使用料及び賃借料	6,802					

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		図書館サービスの提供にあたっては、安全・安心な環境の中で、迅速に対応できるよう求められている。		
	a	市の関与は妥当ですか					
有効性	a	図書館運営について、概ね期待通りの成果を得られている。					
効率性	a	限られた事業費の中で最大限の成果を得るために、維持管理に努めている。また、職員を効率よく各種事業に配置するために、移動図書館車の運転業務を臨時職員が行ったり、夜間開館をシルバー人材センターに業務委託するなど、事業効率化を図った。					
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公平性に問題はないが、公の財産に係る経費の適切な負担の在り方の観点から、サービスを受ける者に一定の負担を求めている。今後も、社会情勢を鑑みながら対価不徴収の原則を維持しつつ、一定の場合に受益者の負担を求めることについて、その適否を適宜検討する必要がある。				
総括評価	a	生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者の視点に立ったサービスを提供した。					
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	今年度も生涯学習施設として適切な環境整備と利用者に対する迅速なサービスの提供を確保する。また、昨年度からの懸案事項である空調設備の更新工事について滞りなく進めたい。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	経年劣化に伴い修繕箇所が多くなっている。予算化できた修繕工事もあるが、財政状況を考慮しながら、今後も図書館としての快適な環境整備の維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能の充実を図る。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		図書館・奉仕班	
		施策の大綱		五の街 めざまします!心の豊かさを感じる街						電話番号		444-4946 内線	
		E-mail		toshokan@city.yachimata.lg.jp									
① 事務事業の概要		具体的施策		社会教育活動の推進									
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		図書館機能の充実			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則			
直接の対象者(〜に対して)		市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者		市民及び市内在勤・在学者			
事業目的(〜という状態にするために)		地域の情報拠点として、すべての市民が図書館サービスを楽しみ、必要な資料や情報を入手できるサービスの展開により、市民の情報リテラシーの向上を図る。また、子どもに対しては読書習慣の修得のため、子どもの読書推進計画に基づき、年齢に応じた子どもの読書環境の整備を図る。											
具体的な事業内容(〜を行う)		地域の現状および将来像を考慮し、市民が自立的に判断、行動するために必要とする資料の計画的な収集と市民一人一人に対応した適切な提供を行う。さらに市民がこれらの資料を効率的に入手し、活用するために、市民と資料を結びつける検索機能とレファレンスブックやデータベース、インターネット上の情報検索により、調査研究の援助を行う。子どもの読書習慣の普及のため図書館内でのおはなし会や親への働きかけを行う事業の充実を図る。さらには、すべての市民の図書館利用の促進のため、映画会、集会事業等を実施する。図書館に来館しにくい地域の高齢者や子どもなどの交通弱者のために移動図書館事業を行うとともに、障がい者への宅配や対面朗読も要請に応じて実施する。また、地域の読書活動を支援するため、求めに応じ、団体貸出や団体の事業に司書を派遣する。											
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		まちづくり等地域振興の活動をする利用者から、公衆無線LANや電源を確保したい、協働で何かをしてみたいという要望がある。また、新聞、雑誌、CDの新規購入希望がある。「図書館は従来のサービスの他にもライブラリーカフェなどを企画し、地域の文化の拠点となっており、今後に期待する」との意見が寄せられている。									
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)					
		事業の実績		1	図書購入冊数	冊	6,586	6,620	7,006	6,500			
				2	おはなし会の開催数	回	70	81	72	75			
				3	講座、映画会の開催数	回	120	132	242	245			
				4	図書館ホームページの更新数	回	89	97	104	105			
		事業の効果		1	図書貸出冊数	冊	321,163	296,882	282,495	285,000			
				2	おはなし会の参加者数	人	914	1,055	865	900			
				3	講座、映画会の参加者数	人	1,290	1,508	2,325	2,350			
				4	司書派遣事業参加者数	人	1,978	2,496	1,856	2,000			
				5	図書館ホームページの閲覧数	回	41,308	41,740	41,703	41,750			
事業効果に関する外部要因		人口の減少、特に子どもの減少は乳幼児、児童を対象とした事業には影響が大きい。市民の行動時間や行動の選択肢が増え、行動が多様化、分散化している。母親が働く世帯が多く、子どもと過ごす時間が減少している中、本で読書をする人や時間の比率が減少している。また、高齢者や子どもの事業への参加は天候や地区、幼稚園や学校等の行事に左右されやすい。											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		講座や映画会などは、実施日や回数を増やしたり、ビジネスサロンなどの新規講座を実施することにより参加者増となった。ホームページの更新回数は担当の努力により目標を上回った。また、ツイッターを開発したことにより、子育て世代などの若い利用者層への情報配信が容易になった。											
④ 事業コスト				単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)					
				千円	11,907	11,769	13,528	12,483					
		決算額				千円	11,907	11,732	13,475				
				特定・その他財源( )		千円	287	534	1,574				
				一般財源		千円	11,620	11,198	11,901				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		図書購入費		11,300	消耗品費		1,289						
		報酬		51	食糧費		13						
		旅費		19	通信運搬費		803						

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		レファレンス件数(本の案内の活用)、予約・リクエストが僅かだが増加している。資料・情報の提供のみならず、読書普及を根拠とした事業の展開にも市民のニーズ・期待は高まっている。		
	a	図書館は市民だれでも利用でき、生涯学習を支える社会教育施設であり、今後さらに広がる市民の「情報格差」是正を担う施設としての重要性からも市の関与は妥当である。					
有効性	a	講座や映画会への参加者は増加していることから、市民のニーズに合った事業の展開は、さらなる利用へと繋がる可能性がある。					
効率性	a	経費の節減に努めるとともに、効率的な執行を図っている。					
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない(図書館法第17条)	A			
総括評価	a	資料のさらなる充実と市民へ資料・情報を市民が活用するための援助の強化とともに、定着しつつある事業の継続と、市民のニーズ、市民協働の観点からも事業の見直しと新規事業について検討していきたい。		A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
元年度における取組のPRと方向性	昨年度集客を上げることができた映画会とライブラリーカフェの定着、ビジネス支援事業の継続、医療健康情報コーナーでの寄贈資料によるがんに関する情報の提供、子育て支援情報とその資料の充実を図り、特に高齢者と子育て世代の集客のために配信メールやツイッター、各戸回覧等さまざまなPR方法により周知し、図書館利用の増加を図る。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として位置づけられており、生涯学習を支える拠点として重要な社会教育施設である。原点に立ち返り、今後も「資料の収集」「情報収集と発信」など、生涯学習の拠点として各団体や庁内各部署と連携を深めながら、市民協働のもと事業を展開するとともに、事業内容の充実・質の向上を図っていききたい。また、子どもの読書習慣修得のきっかけとなるおはなし会については、従来は市民が図書館に合わせて参加する形であったが、少子高齢化の現在、図書館が来館者に合わせた運営についても検討していきたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	視聴覚教材費								部 局	教育委員会			
									課等・班	図書館・管理班			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								電話番号	444-4946	内線	
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp		
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進											
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	図書館機能の充実						
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則				
	直接の対象者 (～に対して)	市民・教職員関係者・青少年相談員・団体関係者など						最終的な受益者	市民				
②	事業目的 (～という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。											
	具体的な事業内容 (～を行う)	・視聴覚機材・教材の購入整備及び維持管理											
③ 実績・成果	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)						
	事業の実績	機材の購入	台	1	3	2	2						
		教材の購入	本	4	4	6	5						
	事業の効果	機材貸出件数	件	402	366	465	400						
		教材貸出件数	件	77	40	22	20						
	事業効果に関する外部要因												
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		視聴覚機材・教材の維持管理、貸出、目録作成等により視聴覚教育の推進を図れた。										
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	376	308	355	339						
	決算額			千円	340	308	316						
		特定・その他財源( )	千円										
			一般財源	千円	340	308	316						
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	20									
			備品購入費	296									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	特に、官公署、ボランティア団体等各種団体からのニーズは高いため。		B
		市の関与は妥当ですか	b	市所有の機材・教材であるため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	視聴覚教材・機材については、ほぼ期待どおりの貸出効果であるため。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	平成30年度より図書館業務の一環として事務事業を統合した。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体の社会教育を推進するうえで、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	利用団体等の要望を維持するため、事業の必要性を認め、図書館業務として事業を継続していく。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1		
				評価者 2		
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	元年度における取組のPRと方向性	機材・教材の有効活用を図るとともに、引き続き魅力ある視聴覚機材及び教材の収集及び管理運営に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 古くなった機材・教材の除籍を行うとともに、人口減少、少子高齢化を鑑み縮小方向への転換を探りたい				

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		郷土資料館管理運営費						部 局		教育委員会		
								所管課等		郷土資料館		
								課等・班				
								電話番号		443-1726 内線		
								E-mail		kyodo@city.yachimata.lg.jp		
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策		文化財の保護・継承								
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		郷土資料館の充実		
① 事務事業の概要		■ 直接実施 □ 業務委託 □ 補助金交付 □ 負担金 □ その他 ( )						実施根拠		地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例		
直接の対象者 (～に対して)		市民のみならず、来館される全ての方々						最終的な受益者		市民及び来館者		
事業目的 (～という状態にするために)		市内外の方々から寄贈・寄託された各種資料や、発掘調査等で得られた考古資料を広く公開し、市民の郷土への関心やふるさと意識が深まること、そして調査・研究に寄与することを目的とする。										
具体的な事業内容 (～を行う)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示の開催</li> <li>・企画展示の開催</li> <li>・体験参加型の展示</li> <li>・映像展示の実施</li> <li>・図書閲覧コーナーの充実</li> </ul>										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		郷土資料館企画展において実施しているアンケート結果から								
		<p>・国から予算をいただき、もっと良い資料館であっても良いと思う。年々、内容・質ともに整いつつ、市関係者の努力の心が伝わる。これからも素晴らしい企画を願っています。・年代ごとの区切りがしっかりしていて楽しめた。</p> <p>・子どもたちが喜んで体験させていただきました。児童ホームも八街にはないので、こんな機会はありがたいです、息子は毎週のように足を運んでいます。</p>										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果		区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
		事業の実績		企画展の開催数	回	1	1	1	1			
				郷土資料館の団体見学	回	5	7	6	6			
				市内各学校への出前授業	回	4	7	5	5			
		事業の効果		年間の来館者数	人	3,396	3,080	2,751	2,889(5%増)			
				企画展開催中の来館者数	人	1,381	1,046	775	814(5%増)			
				郷土資料館の団体見学者数	人	57	294	263	263			
				出前授業の参加者数	人	324	296	366	366			
		事業効果に関する外部要因		昨年度の企画展来館者数が減少した要因としては、企画展のテーマに対する市民の興味関心が少なかったことによる。								
		事業効果の総合分析 (達成できたこと)		例年、市内小学校に出前授業を行っているが、平成30年度は新たに市内高校への出前授業を行った。これは、各教育機関において郷土史の重視とともに郷土愛の醸成に対する取り組みが向上し、それを担う機関として郷土資料館が位置づけられているのだろうと考えられる。その他、上記の記載項目以外にも、市民カレッジ講座など市民団体を対象とした講座も行った。これらは、市民の郷土史に対する興味・関心の深まりを示すものであると考えられる。								
④ 事業コスト		区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
		(最終)予算額		千円	2,636	6,535	2,982	4,308				
		決算額		千円	2,601	6,463	2,791					
				特定・その他財源( )	千円		45	54				
				一般財源	千円	2,601	6,418	2,737				
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		賃金	1,244	役員費	181	負担金	5					
		旅費	3	委託料	615							
		需要費	557	使用料及び賃借料	186							

Check 事務事業の評価										
区分		一次評価	判定理由						二次評価	
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	郷土の歴史について知りたいという方が増え、リピーターも年々増えつつある。最近では、子どもたちが放課後や長期休暇中に体験コーナーを多く利用するため、子どもの居場所づくりとしての機能もある。						A
		市の関与は妥当ですか	a	八街の歴史を多くの方々に理解してもらうため、調査・研究成果を常設展示及び企画展示に反映できるので妥当と思われる。その他にも蓄積した情報を、広く提供できることから妥当である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	企画展を開催し、常設展示の内容も年々改変させることにより、市民の方に繰り返し来館いただき、市民の八街の歴史に対する認識は深まりつつある。その他、他市町からの資料情報の提供(閲覧・撮影)依頼も増えている。						A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	来館者に満足していただけるよう、限られた予算の中で展示方法などに常に工夫をしている。						A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。					A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	近年、人口減少などの影響により来館者数は減少しつつあるが、その一方で出前授業や講座などは増えており、市民の郷土史に対する興味・関心が深まっていると考えられる。また、体験コーナーでは、リピーターとなる子どもたちも多く、市民のふるさと意識を深めていくための環境が整いつつある。その一方で、設備不備や施設老朽化に対する声が増えている。喫緊の課題として、施設自体を建て直す必要がある。						A
外部評価										
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい				評価者 1			
							評価者 2			
Action 今後の事務事業の方向										
⑥	元年度における取組のPRと方向性	今年度は、第二次世界大戦と八街をテーマに企画展示を行う予定である。自らの住む地域の歴史について認識を深めてもらうために、展示内容を充実させる必要がある。外部発信の取組みとして、HP内郷土資料館ページ内を充実させる必要がある。								
	事務事業の今後の方向性	取組み方向								
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
		今まで八街の歴史に興味のなかった方にも郷土資料館について知っていただくため、展示内容に工夫を凝らし、今以上に展示内容を充実していく必要がある。また、市内外・県外からの来館者数を増加させるためには、今まで以上の外部発信が必要であり、市HP内の郷土資料館部分を充実させていく必要がある。その他、展示する資料を適切に保存していく為の収蔵庫の不備や、建物設備の老朽化は、早急に建て替え等の対処をしていく必要がある。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

## 教育委員会の事務事業評価シート

## 【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	市史編さん費						所管課等	部 局	教育委員会	
								課等・班	郷土資料館	
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	文化財の保護・継承								
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	市史編さん事業			
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					実施根拠	公文書館法・公文書等の管理に関する法律 八街市史編さん委員会条例		
	直接の対象者 (~に対して)	市民及び八街の歴史に興味のある方々					最終的な受益者	市民、八街の歴史に興味のある方々		
事業目的 (~という状態にするために)	八街市内ならびに市外に残されている八街に関係する古文書など、ありとあらゆる史・資料を調査研究し、八街の歴史を解明し深化させることにある。そして、明らかになった八街の歴史を『市史』を含む刊行物、展示を通じて、後世に歴史的遺産として伝えることである。									
具体的な事業内容 (~を行う)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八街市史編さん委員会</li> <li>・八街市史編さん委員会 近世専門部会</li> <li>・八街市史編さん委員会 近現代部会</li> <li>・八街市史関連の図書の刊行</li> </ul>									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	郷土資料館企画展において実施しているアンケート結果から								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養の向上に繋がった。</li> <li>・一自治体レベルで古文書画像の製本化が進められていることにとっても驚いた。史料情報提供の効率化と史料保存に対する職員の努力が伺える。</li> </ul>								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	市史編さん委員会開催日数		日	1	2	2	2		
		近世専門部会開催日数		日	1	1	1	1		
		近現代専門部会開催日数		日	3	1	1	1		
	事業の効果	市史編さん委員会審議件数		件	2	4	4	4		
		近世専門部会委員のべ活動日数		日	46	37	34	45		
		近現代専門部会委員のべ活動日数		日	99	74	72	45		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		近世専門部会は、法宣寺の襖下貼り文書の調査・解体・保存作業を行った。市外調査としては、富里市教育委員会が所蔵している「藤崎家文書」の古文書撮影を行い、八街の牧に関係する史料情報を収集した。 近現代専門部会は、大関区有文書の目録編成作業を行った。市外調査としては八街関連資料(三井文庫、横浜開港資料館、早稲田大学図書館、国立国会図書館、東京都公文書館)の調査・収集を行った。その他にも、市内在住の倉次家から所蔵資料を借用し、整理・目録作成・撮影を行い、明治の開墾に関する史料情報を収集した。 また、『市制施行30周年記念誌』の刊行に向けて、30年度に秘書広報課から受け入れた写真類の分類作業を行った。							
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)		
(最終)予算額		千円	3,299	2,546	2,643	2,575				
決算額				千円	3,054	2,378	2,627			
		特定・その他財源( )		千円		69				
		一般財源		千円	3,054	2,309	2,627			
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	41	役員費	675				
			報償費	1,497	負担金	8				
			需要費	406						

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	市民からのニーズは高いですか		a	市内から新たに発見された古文書等について調査研究を進め、八街の歴史解明が深まれば、さらに市民のニーズが高まると思われる。	A
	市の関与は妥当ですか	b	市の歴史を明らかにする作業であるため、直営で実施すべきである。				
有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成23年度に「図解八街の歴史」を刊行し、幅広い世代・年齢層の方に八街の歴史について知っていただけた。これは郷土資料館の来館者数の増加の要因の1つといえる。	A			
効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の人員体制を続ける以上、長期的な展望を持ち、永続的に作業を続ける必要がある。	A			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし         事業の成果は八街市史として広く公開されるので、公平性に問題はない。	A			
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	年々、市史編さんの対象となる調査研究が進展していることで、八街市に関する史実の発掘が広がりつつあり、今後も継続的な取り組みが必要であるが、さらなる調査結果の深化と刊行スピードをあげるためには、全体的に予算不足である。	A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	昨年度に引き続き、近世専門部会では、『八街市史 資料編 近世三』の刊行に向けて古文書の整理作業を進め、近現代専門部会では、『八街市史 資料編 近現代一』の刊行に向け調査研究を進める。 その他、事務局側においても各部会の『資料編』で必要となる市内所蔵資料について、悉皆調査を進め、古文書の収集・撮影・整理を進めていく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	『八街市史 資料編』の刊行に必要な郷土資料館収蔵資料の内、整理目録化が進んでいない資料群があり、それらを整理するには現状よりも活動日数の増加が必要と考える。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		八街市ピーナッツ駅伝大会運営費				所管課等	部 局	教育委員会
							課等・班	スポーツ振興課・振興班
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				電話番号	443-1465	内線
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街				E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp	
	具体的施策	生涯スポーツの推進						
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツイベントの開催	
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )				実施根拠	スポーツ基本法	
	直接の対象者(～に対して)	市民				最終的な受益者	市民	
	事業目的(～という状態にするために)	冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進と体力の向上及びランニングについての関心を高める。走る楽しさや喜びと共に地域融和の発展を図る。						
	具体的な事業内容(～を行う)	駅伝大会の実施。 ・一般の部(5区間、21.00km)・高校の部(5区間、21.00km)・中学男子の部(8区間、21.00km) ・中学女子の部(5区間、12.35km)・女子の部(5区間、12.35km)・オープンの部(5区間、21.00km)						
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	ピーナッツ駅伝大会	回	1	1	1	1	
	事業の効果	ピーナッツ駅伝大会参加者数	人	441	404	388	460	
		ピーナッツ駅伝大会参加チーム	チーム	71	66	63	80	
	事業効果に関する外部要因							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進及び体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図った。平成30年度において、第62回となっている。						
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	851	907	944	919	
	決算額		千円	789	830	849		
		特定・その他財源( )	千円					
		一般財源	千円	789	830	849		
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	266					
		役務費	59					
		使用料及び賃借料	524					

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由			二次評価		
		必要性	a	生涯スポーツ推進に対し市民のニーズはたかまっており、参加者数の推移からも必要である。			A
市民からのニーズは高いですか	a	市主催の冬季最大の行事であり、平成30年度で62回となり妥当であるとする。					
有効性	a	平成30年度で第62回の歴史があり、高校及びオープン部の参加チームの増加等からも有効である。			A		
期待された効果は得られていますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討し、実施を行っている。平成21年度にコース・区間の変更を行い、安全性、効率性を高めてきている。			A		
効率性	a	事業の効率性を高められますか			A		
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	6部門に分け募集を行い、それぞれの体力に見合うコース・区間設定や障害者の参加受け入れ体制等公平性に問題はない。		A		
事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討し、実施を行っている。平成21年度にコース・区間の変更を行い、安全性、効率性を高めてきている。			A		
総括評価	a	総括及び事業実施上の課題			A		
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1			
				評価者 2			
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報やホームページ等によりPRを実施。また、八街の特産品の落花生とキャロットジュースのPRについても更なる検討をしていきたい。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
冬季スポーツ行事として最大のイベントであり、継続して実施していく。コース等の見直しなど、現状を把握し、各関係団体の協力を得て、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校開放推進費						部 局		教育委員会	
								課等・班		スポーツ振興課・振興班	
								電話番号		443-1465 内線	
								E-mail		suposhin@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	スポーツ基本法・社会教育法 八街市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則		
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	八街市における社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の利用に供する。										
具体的な事業内容(～を行う)	市内小中学校の校庭、運動場、プールの一般開放を行い、施設の有効活用と市民の運動意識の高揚を図る。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	学校施設開放(屋内運動場)		施設	16	16	16	16			
		学校施設開放(屋外運動場)		施設	13	13	13	13			
		プール開放(八街北中学校、八街南中学校)		施設	2	2	2	2			
	事業の効果	学校開放利用者(屋内運動場)		人	170,184	170,349	167,821	172,000			
		学校開放利用者(屋外運動場)		人	38,645	33,748	34,672	38,000			
		プール開放利用者(実人数)		人	849	866	1,012	1,000			
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		八街市における生涯スポーツの普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供し、市民の運動意識高揚を図った。								
	④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
(最終)予算額		千円	3,487	3,525	3,496	3,484					
決算額				千円	3,351	3,430	3,419				
		特定・その他財源( )		千円							
		一般財源		千円	3,351	3,430	3,419				
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	16	委託料	3,175					
			役務費	21	賃借料	207					

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	市で管理する学校施設を有効利用するための開放であり、必要不可欠である。		
有効性	a	市民の生涯スポーツに有効利用されており、現在飽和状態(待機あり)となっている。		
効率性	a	カギの長期貸出しを平成21年度から実施。プール開放については、引き続き入札を行って効率を図った。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	学校施設のスポーツ開放にあたっては、団体登録を行い、参加希望者がある場合、代表者を紹介(本人了解済の団体)するなどしている。また、プール開放については全市民を対象にしており、公平性は保たれている。	
総括評価	a	現在、スポーツ開放については、飽和状態で待機待ちの状態であり、耐震工事による利用停止など団体の利用箇所制限がされる。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	遊び場開放について、学校だより等による広報を依頼。今後においてもPRに努める。プール開放については現在、広報紙・ホームページやポスター等により市民に周知しておりますが、更に学校関係等にチラシを配付する等周知徹底する必要がある。			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合
	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
	学校施設のスポーツ開放、遊び場開放は市民のスポーツの振興及び意識の高揚のためにも継続して実施していかなければならないが、スポーツ開放について、飽和状態となっており、今後も利用状況を把握、整理し、効率を図ることが必要である。また、学校プール開放については、利用状況を精査し、効率のよい利用方法等を更に検討する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	保健体育総務費								部 局	教育委員会			
									課等・班	スポーツ振興課・振興班			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								電話番号	443-1465	内線	
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進											
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援						
① 事務事業の概要	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	八街市スポーツ推進審議会条例 八街市スポーツ推進委員に関する規則				
	直接の対象者 (～に対して)	スポーツ関係者						最終的な受益者	市民				
②	事業目的 (～という状態にするために)	市のスポーツ推進を図るため、指導者の育成推進等											
	具体的な事業内容 (～を行う)	・スポーツ推進審議会委員、スポーツ推進委員報酬 ・印旛郡市体育協会負担金支出等 ・スポーツ振興事業国内遠征激励費支出等											
	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)						
	事業の実績	スポーツ推進審議会会議	回	0	0	0	1						
		スポーツ推進委員会会議	回	6	5	5	5						
		スポーツ推進委員活動	回	56	68	68	68						
	事業の効果	スポーツ推進審議会会議	回	0	0	0	1						
		スポーツ推進委員活動	回	56	68	68	68						
	事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。 ・スポーツ推進審議会は教育委員会の諮問に応じスポーツ推進の重要事項について、調査審議し、教育委員会へ建議している。 ・スポーツ推進委員については、市民体育祭をはじめとする各種大会等において、競技役員として活躍している。 また、ノルディック・ウォークをはじめとしたニュースポーツの推進や体験教室などの各種教室等で講師として活躍している。											
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	4,592	4,336	4,487	4,418						
	決算額		千円	4,103	3,954	4,040							
		特定・その他財源( )	千円										
		一般財源	千円	4,103	3,954	4,040							
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬	608	役員費	49	公課費	23						
		賃金	2,069	使用料及び賃借料	150								
		需用費	171	負担金及び補助金	970								

Check 事務事業の評価					
区分		一次評価	判定理由		二次評価
⑤ 事務事業の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ推進に対する市民のニーズは高くなっており、また、スポーツ推進の重要施策を調査審議・決定するスポーツ推進審議会会議、各行事等役員に関わるスポーツ推進委員会は、市民の生活に直接関係があり、スポーツ振興や健康づくり等のためにも必要である。	A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市スポーツ推進の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	スポーツ推進委員会会議5回実施した。 本市スポーツ推進に係る基本的経費となっている。	A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	スポーツ推進審議会会議については、必要時に招集し審議を行っている。 臨時職員を雇用・活用し業務を行っている。	A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし スポーツ推進審議会会議等で決定された事項は、市のスポーツ推進、各行事の円滑な運営に繋がるもので、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のニーズに対応するため、スポーツ推進審議会会議への諮問を基本とし、業務を遂行していく。また、市民のニーズにあった健康づくり等、スポーツの推進、振興を遂行していく。	A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
				評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	元年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中、スポーツ推進審議会をはじめ、スポーツ推進委員会等の各種団体の意見を収集し、今後のスポーツの推進に役立てていく。また、現状を把握し、スポーツ推進委員等のマンパワーを活用し、本市のスポーツ推進を図っていく。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 スポーツ推進審議会は、市スポーツ推進の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していく必要がある。また、スポーツ推進委員によるニュースポーツの推進や運動を通じた健康づくりの支援等についても、さらに、現状を把握し、本市の一層のスポーツ推進を図っていくことが必要である。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

## 教育委員会の事務事業評価シート

## 【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	体育振興費						部 局	教育委員会			
							課等・班	スポーツ振興課・振興班			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1465	内線	
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	具体的施策	生涯スポーツの推進									
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツイベントの開催				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	スポーツ基本法 各種大会開催経費等			
直接の対象者 (〜に対して)	市民						最終的な受益者	市民			
事業目的 (〜という状態にするために)	各種スポーツ大会を開催し、市民の健康増進と相互の親睦を深める。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	市民を対象とした各種スポーツ大会の開催 ・市民ゴルフ大会(5月)、近隣中学校交流野球大会(6月)、スポーツレクリエーション祭(8～翌年3月)、少年野球教室(12月)、近隣中学校交流柔道大会(1月)、ロードレース大会(10月) 各種スポーツ団体への活動補助金の交付 ・体育協会 ・スポーツ少年団 ・ママさんバレーボール連盟										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	市民ゴルフ大会	回	1	1	1	1				
		市スポーツ・レクリエーション祭	回	6	6	6	5				
		少年野球教室、市ロードレース大会	回	各1	各1	各1	各1				
	事業の効果	市民ゴルフ大会	人	124	132	136	140				
		市スポーツ・レクリエーション祭(インディカ、ダブルハンドゴルフ等)	人	447	419	338	450				
		少年野球教室	人	95	91	104	120				
市ロードレース大会	人	340	349	390							
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	平成30年度において、市民ゴルフ大会(35回)、少年野球教室(41回)、市ロードレース大会(41回)と、市民に定着している事業となっている。										
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	4,089	3,637	6,621	6,662				
	決算額			千円	3,990	3,545	6,257				
		特定・その他財源( )	千円	200		2,316					
	一般財源		千円	3,790	3,545	3,941					
30度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報償費	195	委託料	799	補助金	2,745				
		需用費	1,523	使用料及び賃借料	765						
		役務費	216	備品購入費	14						

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	市の関与は妥当ですか		A
有効性	a	実施回数、参加人数の推移からも有効と考えられる。		A
効率性	a	各事業前の関係団体等との打合せや実施後反省会等により翌年度の事業前に念入りに協議を行い、毎年実施につないでいる。		A
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	市広報紙やホームページにより市全体に啓蒙を図っているため、公平性は保たれている。	A
総括評価	a	各事業実施前後、関係団体等との打合せ会議を実施し、前回の反省等協議を行い毎年実施している。今後、更に市民のニーズに応じていく。		A
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	各関係機関及び団体との会議等の場や市広報紙・ホームページの活用によりPRに努める。また、各団体との信頼並びに協力体制の強化			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	本市のスポーツ振興、生涯スポーツの振興とスポーツを通しての健康づくりに必要不可欠であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		郡市民体育大会運営費					部 局	教育委員会
							課等・班	スポーツ振興課・振興班
							電話番号	443-1465 内線
							E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )					実施根拠	スポーツ基本法
直接の対象者(〜に対して)	印旛郡市民					最終的な受益者	印旛郡市民	
事業目的(〜という状態にするために)	印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図る。							
具体的な事業内容(〜を行う)	印旛郡市8市町、印旛郡市各市町教育委員会及び印旛郡市体育協会の主催で、毎年開催されている。平成30年度八街市は、柔道(八街中武道場)と弓道(八街市スポーツプラザ)が会場となり開催。							
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等							
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	印旛郡市民大会	回	1	1	1	1	
	事業の効果	印旛郡市民体育大会(八街市延参加者)	人	328	309	312	330	
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図った。平成30年度で第69回の歴史がある。							
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	116	77	53	52	
	決算額			千円	96	44	46	
		特定・その他財源( )	千円					
			一般財源	千円	96	44	46	
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	46				

Check 事務事業の評価									
区分		一次評価	判定理由		二次評価				
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、生涯スポーツ振興についても同様である。印旛郡市全域より集まる印旛郡市最大のスポーツ行事となっている。		A				
	市の関与は妥当ですか	a	印旛郡市の応分の負担として妥当である。						
有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成30年度で第69回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。		A				
効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行い、効率性を高めてきている。		A				
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市体育協会各専門部等により、選考会等開催し推薦により、選手を決定している。公平性に問題はない。	A				
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回の大会を実施し今日に至っている。今後、さらに印旛郡市民との振興を図っている。		A				
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1					
				評価者 2					
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	元年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報紙等によりPRに努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		印旛郡市民との交流を図り、体力向上とスポーツの普及を図るため継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	体育施設維持管理費						部 局	教育委員会			
							課等・班	スポーツ振興課・振興班			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1465	内線	
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	具体的施策	生涯スポーツの推進									
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツ施設の充実				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	スポーツ基本法 八街市市営運動場の設置及び管理に関する条例			
直接の対象者 (〜に対して)	社会体育施設(市営運動場)						最終的な受益者	市民			
事業目的 (〜という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・(市営運動場、ゲートボール場、グランドゴルフ場)										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	グラウンド等光熱水費	千円	4,563	4,872	4,769	4,609				
		グラウンド等土地賃借料	千円	14,299	14,210	14,210	14,210				
		グラウンド等施設保守管理委託料	千円	7,720	6,688	7,522	6,982				
	事業の効果	社会体育施設利用状況	人	80,782	75,482	79,658	80,000				
		(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、複戸サッカー場)									
		社会体育施設使用料	千円	759	709	683	709				
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	社会体育施設を維持管理し、市民等が安全に利用できるよう努め、心身の健康と生涯スポーツの推進に寄与した。										
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	28,723	28,500	29,854	27,117				
	決算額		千円	27,819	28,216	29,676					
		特定・その他財源( )	千円	759	709	883					
		一般財源	千円	27,060	27,507	28,793					
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	5,382	使用料及び賃借料	14,210						
		役務費	208	工事請負費	2,225						
		委託料	7,522	原材料費	129						

Check 事務事業の評価					
区分	一次評価			二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	社会体育施設管理の適正な維持管理は利用者の安全を保っている。	
市の関与は妥当ですか		a	社会体育施設の老朽化により、市の維持管理は不可欠である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。		
効率性	事業の効率性を高められますか	a	保守など委託契約については、入札等により業者の選定を図ることにより効率的に維持管理している。		
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性・安全性を考慮し、順位を決め実施することにより公平に実施している。	
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設管理等重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。市民が安全に生涯スポーツを行っていただけるよう各施設の状況を把握、管理していかなければならない。		
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい			評価者 1	
				評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向					
元年度における取組のPRと方向性	安全管理及び施設の維持管理に努める。				
⑥ 事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
	社会体育施設の維持管理は老朽化等により継続して実施していかなければならない。さらに状況を把握し、危険性及び緊急性から修繕等優先順位を決め、維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画、要望していく必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名		スポーツプラザ管理運営費					部 局	教育委員会
							課等・班	スポーツプラザ・管理班
							電話番号	443-8003 内線
							E-mail	sports_plaza@city.yachimata.lg.jp
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街					
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進					
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツ施設の充実
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例
	直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民
	事業目的(〜という状態にするために)	施設の維持管理を適正に行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。主として当施設の運営及び設備の維持・管理を適切に行うことによりスポーツ施設としての水準を維持することを目的とする。						
	具体的な事業内容(〜を行う)	スポーツプラザ各種施設(体育館・テニスコート等)の運営及び清掃・警備・夜間の施設管理などの業務委託並びに老朽箇所の修繕、乗用草刈機の購入を行った。						
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目						
Do 事務事業の実施								
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	委託関係	千円	12,279	9,870	1,243	11,077	
		修繕関係	千円	734	1,537	963	695	
	事業の効果	施設の安全性を維持した						
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した						
		施設利用件数	件	7,912	8,251	7,700		
		施設利用人数	人	115,944	121,995	115,952	117,964	
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		おおむねサービス提供はできている。しかしながら、経年劣化による大規模な修繕箇所が増加しており、将来的なサービス提供の低下は避けられないと考える。また、卓球台やバスケットゴール・トレーニング器具などの備品や、バレーボール・バドミントン等のネットなどの消耗品も劣化が著しいため、随時入替が必要である。						
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	29,195	25,576	26,868	25,491	
	決算額			千円	27,096	24,584	25,773	
		特定・その他財源( )		千円	5,774	5,878	5,783	
		一般財源		千円	21,322	18,706	19,990	
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金	3,248	委託料	10,508			
		需用費	6,975	使用料及び賃借料	3,399			
		役務費	545	備品購入費	1,086			

Check 事務事業の評価										
区分		一次評価	判定理由						二次評価	
⑤ 事務事業 の評価	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	個人・団体からの問合せや予約も多いことから、市民からのニーズは高い。						A
		市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	各施設の利用状況については微増微減はあるものの、概ね成果は得られている。						B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の状況を鑑みると、効率向上・コスト低減の余地はない。前述のとおり経年劣化が著しく、大規模修繕等が必須である。						A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし						A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、効率的な施設の維持管理を実施している						A
外部評価										
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい						評価者 1		
								評価者 2		
Action 今後の事務事業の方向										
⑥	元年度における取組のPRと方向性									
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
		現在は部分的な改修に留まっているが、竣工後20年以上経過しているため大規模な修繕が必要であり、それにより将来的な維持管理費の抑制が計られる。 また、各種競技等に使用する備品関係においても、随時入替を行い、良好なサービス提供を図っていく。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要								
事務事業名	スポーツプラザ整備事業費(繰越分含む)						部 局	教育委員会
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 ①事務事業の概要	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					課等・班	スポーツプラザ・管理班
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					電話番号	443-8003 内線
	具体的施策	生涯スポーツの推進					E-mail	sports_plaza@city.yachimata.lg.jp
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツ施設の充実	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )					実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例	
直接の対象者(〜に対して)	市民					最終的な受益者	市民	
事業目的(〜という状態にするために)	主として社会体育施設としての水準を維持するために必要な改修等を行うことを目的とする。							
具体的な事業内容(〜を行う)	多目的広場からテニスコート、調整池周辺の外灯29基を水銀灯からLEDへの改修工事を行った。外灯工事に伴う実施設計、監理業務を行った。(事故繰越案件) テニスコート(No.1~No.5)人工芝改修工事を行った。メインアリーナ放送設備改修工事を行った。 遊具(ブランコ、安全柵)設置工事を行った。							
②市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							
Do 事務事業の実施								
③実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	事業の実績	テニスコート人工芝改修工事		千円			44,465	0
		メインアリーナ放送設備改修工事		千円			1,124	
		遊具設置工事		千円			972	
	事業の効果	施設の安全性を維持した						
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した						
事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		テニスコート人工芝を改修し利用者の利便性の向上が図れた。但し、体育館アリーナ床改修、照明LED改修について、今後の財政状況を鑑みながら定期的な改修が必要であると判断する。						
④事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)	
	(最終)予算額		千円	30,179	32,843	82,391	0	
	決算額			千円	28,857	2,098	67,807	
		特定・その他財源( )		千円	17,000		55,917	
		一般財源		千円	11,857	2,098	11,890	
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料	1,520				
			工事請負費	66,287				

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
必要性	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。		
有効性	b	おおむね効果は得られている。		
効率性	a	入札による工事請負のため、効率化は図られていると考える。		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし		
総括評価	a	スポーツ振興に寄与する施設として、安全で効率的な施設の維持管理を実施している		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性				
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	施工後20年以上経過しているため、大規模な修繕箇所が多々あり、財政状況を踏まえながら定期的な改修が必要であると判断する。		

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校給食センター一般管理費						部 局		教育委員会	
								課等・班		学校給食センター・管理班	
								電話番号		444-1181 内線	
								E-mail		kyushoku@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校給食センターの整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則 八街市学校給食費徴収規則	
	直接の対象者(〜に対して)	・幼稚園、小学校、中学校、園児、児童、生徒、保護者						最終的な受益者		園児、児童、生徒、保護者	
	事業目的(〜という状態にするために)	・園児、児童、生徒に安定した給食を供給する									
	具体的な事業内容(〜を行う)	・給食センター運営委員会の開催 ・給食事業に係る臨時職員の雇用等 ・給食費収納管理システムの活用									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	・八街市総合計画2015後期基本計画基礎調査報告書(中間報告)における、まちづくり活動団体アンケートにおいて幼児教育・学校教育の充実は最も要望が高い								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	事業の実績	1	平均配食数(児・生)	食	5,487	5,257	5,035	5,039			
		2	平均配食数(幼)	食	276	224	183	203			
		3									
	事業の効果	1	学校給食費収納率	%	96.59	97.02	97.61	97.02			
		2	生活習慣病予防検診事後指導者数	人	44	57	33	52			
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因		・徴収対策について各学校からの協力								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・効率的な徴収対策を検討し徴収率の向上を達成した								
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	7,061	5,865	6,696	6,948				
	決算額			千円	6,305	5,095	6,314				
		特定・その他財源( )		千円	7	0	25				
		一般財源		千円	6,298	5,095	6,289				
	30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			賃金	1,383	委託料	2,421				
			需用費	754	賃借料	341					
			役務費	1,359							

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	a		・八街市総合計画2015後期基本計画基礎調査報告書(中間報告)における、まちづくり活動 団体アンケートにおいて幼児教育・学校教育の充実は最も要望が高い		
	a	・学校給食法第4条において学校給食事業は義務教育諸学校の設置者の任務とされている		A			
有効性	a	・学校教育の充実を図るため、給食の円滑かつ安定的な供給は図られた。給食費収納率は児童 手当徴収方法の変更等により成果が上がったが、まだ向上の余地がある。		A			
効率性	a	・第一・第二調理場の一括民間委託を平成29年度8月より実施 ・収納管理システムを用いた給食費収納業務の一元化により業務が円滑となる		A			
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	給食費の未納解消による公平性の確保を図る	A			
総括評価	a	学校教育の充実を図るため、給食の円滑かつ安定した供給をはできたが、給食費収納率は向上の余地がある。		A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1				
			評価者 2				
Action 今後の事務事業の方向							
元年度における取組のPRと方向性	・平成30年度の実績を踏まえ、令和元年度においても、給食費収納業務の円滑な運営に努める						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	・給食費収納管理システムを活用した業務の一元化により、今後もより一層の未納対策を進める ・より効率的な徴収対策の方法を検討する						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校給食センター調理場維持管理費						部 局		教育委員会	
								課等・班		学校給食センター・管理班	
								電話番号		444-1181 内線	
								E-mail		kvushoku@city.yachimata.lg.jp	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
(八街市総合計画) 2015		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策		学校教育の充実							
実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校給食センターの整備			
① 事務事業の概要		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )						実施根拠		学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則	
直接の対象者 (～に対して)								最終的な受益者		園児、児童、生徒、保護者	
事業目的 (～という状態にするために)		・給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等を良好な状態に保つ									
具体的な事業内容 (～を行う)		・給食センターの施設、設備等の適切な維持管理を行う									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等									
Do 事務事業の実施											
		区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
③ 実績・成果		事業の実績		1	維持管理対象設備・機器数	千円	12	12	12	12	
				2							
				3							
		事業の効果		1	平均配食日数(小)	日	184	183	183	183	
				2	平均配食数(中)	日	184	185	186	183	
				3	調理委託業者からの修理依頼件数	件	83	66	36	66	
				4							
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた									
		区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
④ 事業コスト		(最終)予算額		千円	19,717	27,212	49,063	24,085			
		決算額		千円	17,433	25,188	25,440				
				特定・その他財源(                    )	千円			600			
				一般財源	千円	17,433	25,188	24,840			
30年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費		3,177							
		委託料		12,406							
		工事請負費		9,259							

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
	a	・学校給食法に基づき市が実施する事業であり、限られた予算の範囲で優先順位を定め対応している		
有効性	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保ち安定的な給食の供給ができた		
効率性	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つと同時にコスト面も考慮している		
公平性	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	・給食の調理に要する費用(賄材料費は除く)は、全て市の負担となっていることから公平性に問題はない	
総括評価	a	主たる工事、修繕等は実施できた。施設の長寿命化のため、具体的な計画の立案が必要である。		
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	・給食センターの施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	・施設、設備等の老朽化が進み適切な維持管理を図るためには、計画的な改修が必要となりコスト増が考えられる			

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

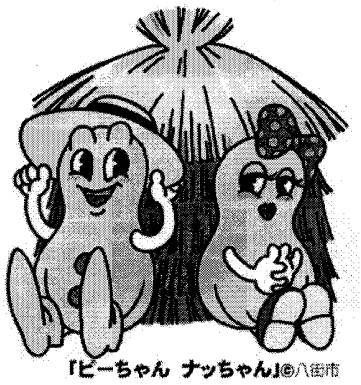
【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名		学校給食センター調理場給食事業費						部 局	教育委員会	
								課等・班	学校給食センター・管理班	
								電話番号	444-1181	内線
								E-mail	kyushoku@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実							
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校給食センターの整備		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 給食費 )						実施根拠	学校給食法 八街市学校給食費徴収規則	
直接の対象者 (〜に対して)	・学校給食を受ける園児、児童、生徒						最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者		
事業目的 (〜という状態にするために)	・児童、生徒の心身の健全な発達のため、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけさせる									
具体的な事業内容 (〜を行う)	・市内13小中学校並びに市内3幼稚園への給食を供給									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	事業の実績	1	平均配食数(児・生)	食	5,487	5,257	5,035	5,039		
		2	平均配食数(幼)	食	276	224	183	203		
		3								
	事業の効果	1	残さい率(小)	%	16.7	14.6	14.6	14.6		
		2	残さい率(中)	%	15.4	16.8	13.6	16.8		
		3	給食事故件数	件	0	0	0	0		
		4								
	事業効果に関する外部要因		・第一調理場(調理業務)を平成20年度より民間委託している ・第二調理場(調理業務)を平成28年度より民間委託している (平成29年8月より第一、第二調理場を一括して3カ年契約)							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・安全で安心な学校給食を円滑に配食することができた							
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	482,827	488,447	473,812	498,790			
	決算額			千円	470,220	479,738	470,469			
		特定・その他財源( )		千円	286,734	275,101	261,416			
		一般財源		千円	183,486	204,637	209,053			
30年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			賄材料費	269,435						
			委託料	157,828						

Check 事務事業の評価				
区分	一次評価	判定理由		二次評価
		必要性	a	
	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食日数や配食内容等適切に供給している</li> </ul>		A
有効性	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることができた</li> </ul>		A
効率性	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の選定や献立の工夫等により給食内容の充実が図られており、現状でのコスト削減は難しい</li> </ul>		A
公平性	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者より賄材料費を給食費として徴収しているが、未納者が多い</li> </ul>	A
総括評価	a	給食の円滑で安定した供給をすることができた。		A
外部評価				
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	
			評価者 2	
Action 今後の事務事業の方向				
元年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費は賄材料費に全額充当しているが、未納者が多いことから一層の未納対策を進める</li> <li>・食材や燃料等の高騰の懸念もあることから、材料の選定や献立の工夫等により、給食内容の充実を図る</li> <li>・第一・第二両調理場の調理業務については、引き続き民間委託を実施し円滑な運用を図る(平成32年7月までの3カ年契約)</li> </ul>			
事務事業の今後の方向性	取り組み方向			
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	燃料や食材の高騰の懸念もあることから、材料選定や献立の工夫等により給食内容の更なる充実を図る。			

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価





八街市のイメージキャラクター